

# 2021年3月期 第1四半期決算 投資家向け説明会

2020年8月12日

ソフトバンクグループ株式会社



## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、いかなる法域においても、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの経営陣における重要な人物に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、ソフトバンク・ビジョン・ファンド並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、功績又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、功績又は財務状況に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（[https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであると保証するものではなく、実績、業績又は功績は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、その推定を示すものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引を決定する際に依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在に、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に記載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を負うものではないことを表明します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はソフトバンクグループ株式会社の子会社（以下「SBファンド運用会社」とい、SB Investment Advisers (UK) Limited及びその関係会社（以下「SBIA」）を含みます。）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」とい、ソフトバンク・ビジョン・ファンド・エル・ピー（以下「ビジョン・ファンド1」）を含みます。）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は購入の申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。

SBファンド、SBIAを含むSBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、ソフトバンクグループ株式会社又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンドの将来のパフォーマンスについての誓約又は表明として依拠されるものではありません。

疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、SBファンド運用会社により運用される従前のファンドであり、投資家に対して募集されていません。SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮すべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する言及は、それに含まれる範囲で、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明するためだけに述べられたものであり、いずれか特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドの各投資の投資パフォーマンスは異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はソフトバンクグループ株式会社が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIAは、ソフトバンクグループ株式会社から別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド1を含むSBIAによって運営されているSBファンドは、SBIA単独で運営されています。

## 本資料における為替換算レート

期中平均レート	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4
1米ドル	110.00	107.70	108.98	109.22	107.74			
1人民元	16.13	15.37	15.46	15.56	15.16			
期末レート	2019/6月末	2019/9月末	2019/12月末	2020/3月末	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末
1米ドル				108.83	107.74			
1人民元				15.31	15.23			

## 略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SVF or ソフトバンク・ビジョン・ファンド	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
アーム	Arm Limited
アリババ or Alibaba	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	The We Company

# 財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK、アーム、SVF1、ブライスター、PayPay、フォートレス、SBIナジー等です

## 強固なポートフォリオを活用し、大幅な財務改善と株式価値向上を同時に達成

### 保有資産の状況

- **4.3兆円の資金化を迅速に実行。保有株式価値は27.4兆円**
  - Alibaba：\$14.7bnの資金化。関連会社のAnt Groupが上場計画を発表
  - Tモバイル：\$22.4bnの資金化。FY20Q1から投資有価証券として公正価値で評価
  - SBKK：3,102億円の資金化。子会社のZHDが増収・営業利益増で好調
  - SVF事業※2：1,114億円の実現益および2,581億円の未実現評価益※3を計上  
1社(Relay)が新規上場

### 負債の圧縮

- **コロナ禍にも関わらず、1.3兆円にのぼるデットを返済**
  - Alibaba株式を活用したマージンローン\$9.4bn (期限前返済)
  - 国内シニアテール社債 1,000億円 (満期償還)
  - 国内シニア社債 1,676億円 (買入消却)

### LTVの改善

- **保有資産の堅調な株価および資金化により、財務状態はもっとも強固に**
  - LTV：11.0%
  - 手元流動性：3.4兆円 (社債償還資金4年分超)

※1 後発事象を含む

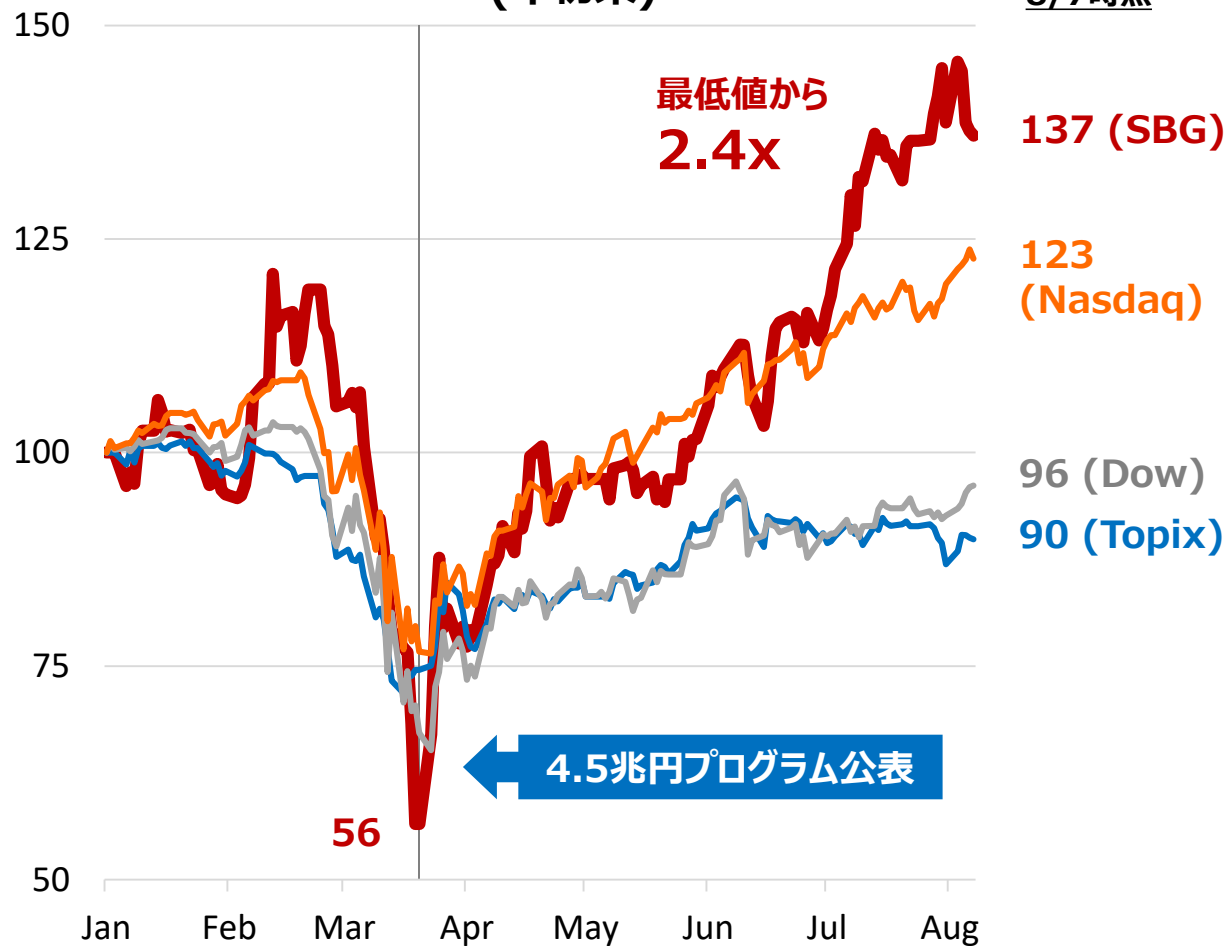
※2 ソフトバンク・ビジョン・ファンド等SBIAの運営するファンド事業

※3 FY20Q1末に保有する投資先に対しての評価益

- **4.5兆円プログラムの進捗**
- 保有資産の状況
- 財務の状況
- 財務戦略

## 4.5兆円プログラムを、エクイティ・デット市場ともに好感

### SBG 株価※1 (年初来)

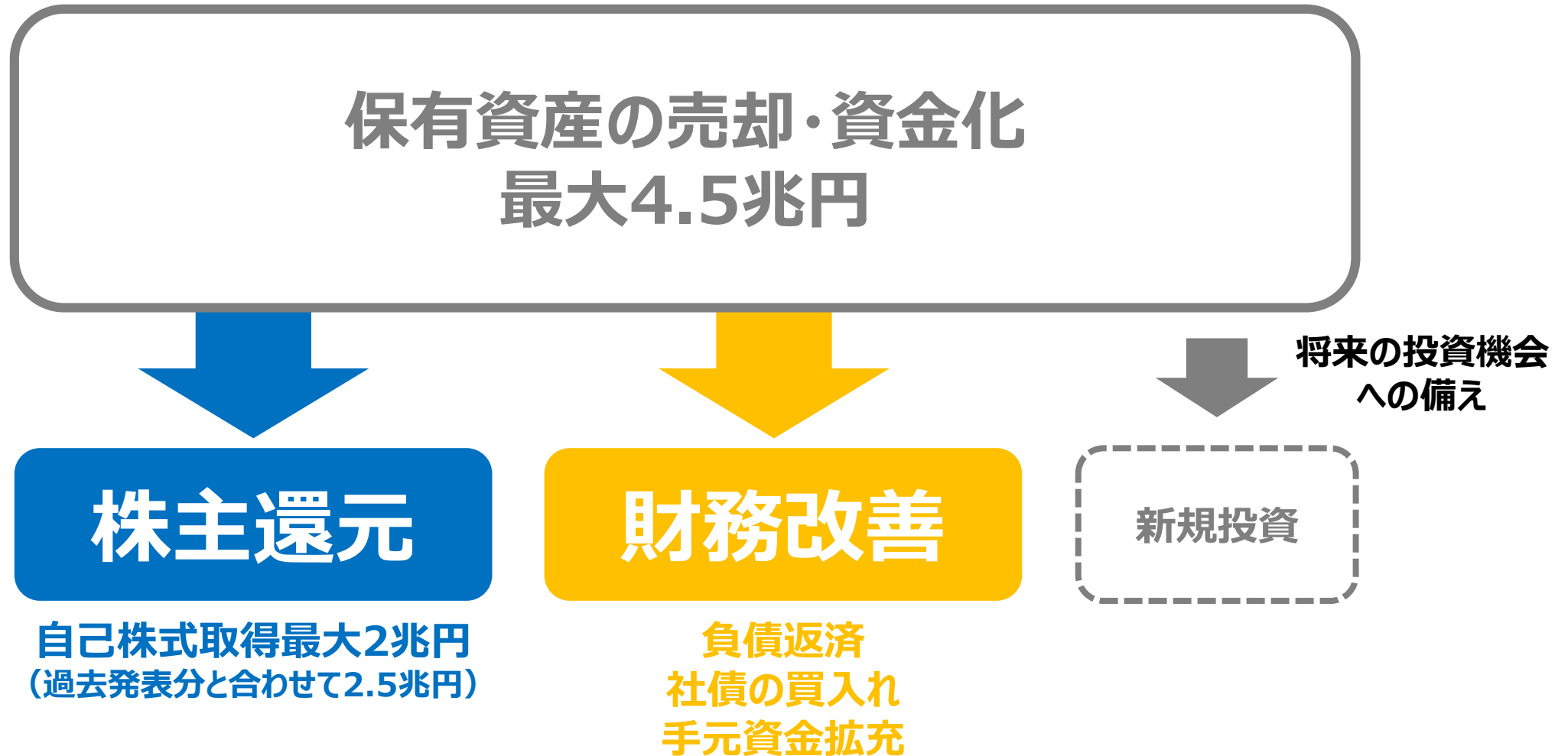


### SBG CDS※2 (年初来)



※1 2020年1月1日を100として指数化。2020年8月7日時点  
※2 5年円建てCDS。2020年8月7日時点

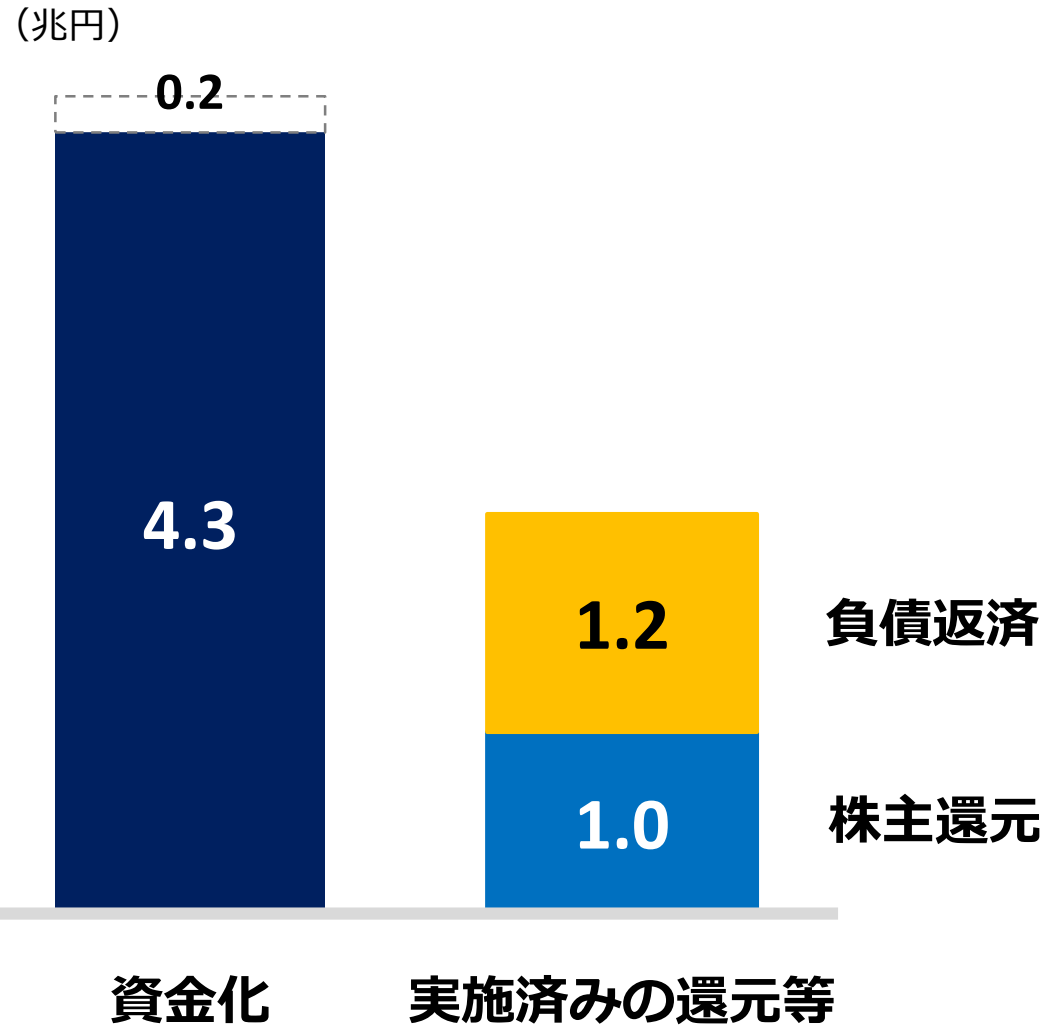
## 資産資金化により、株主および債権者へ大規模還元





# 4.5兆円プログラムの進捗

資金化はほぼ完了(95%)。順調に進捗



- 流動性の高い資産を最大限活用
- 今後は株主還元・負債返済 (銀行ローンや社債)を実行

※ 資金化および負債返済は2020年8月11日時点(決算発表日)。自己株式取得は2020年8月3日時点

## 株価インパクトを最小限にしつつ、わずか4カ月半で4.3兆円の資金化を実施

<b>Alibaba</b>	4-7月 先渡契約	\$14.7bn	<b>\$14.7bn</b>
<b>SBKK</b>	5月 ブロックトレード	3,102億円	<b>\$2.9bn<sup>※1</sup></b>
<b>T-Mobile</b>	6-7月 公募売等	\$18.1bn	<b>\$22.4bn</b>
	7月 マージンローン	\$2.3bn <sup>※2</sup>	
	8月 ライツオフアリング	\$2.0bn	

**総額 \$40.0bn (約4.3兆円<sup>※1</sup>)**

※1 2020年6月までの入金分:1ドル=107.74円(2020年6月30日TTM)で換算。2020年7月以降の入金分:1ドル=105.59円(2020年8月7日TTM)で換算

※2 Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています。

## 企業のデット調達が加速するなか、SBGは総額1.2兆円※1の負債返済を実行

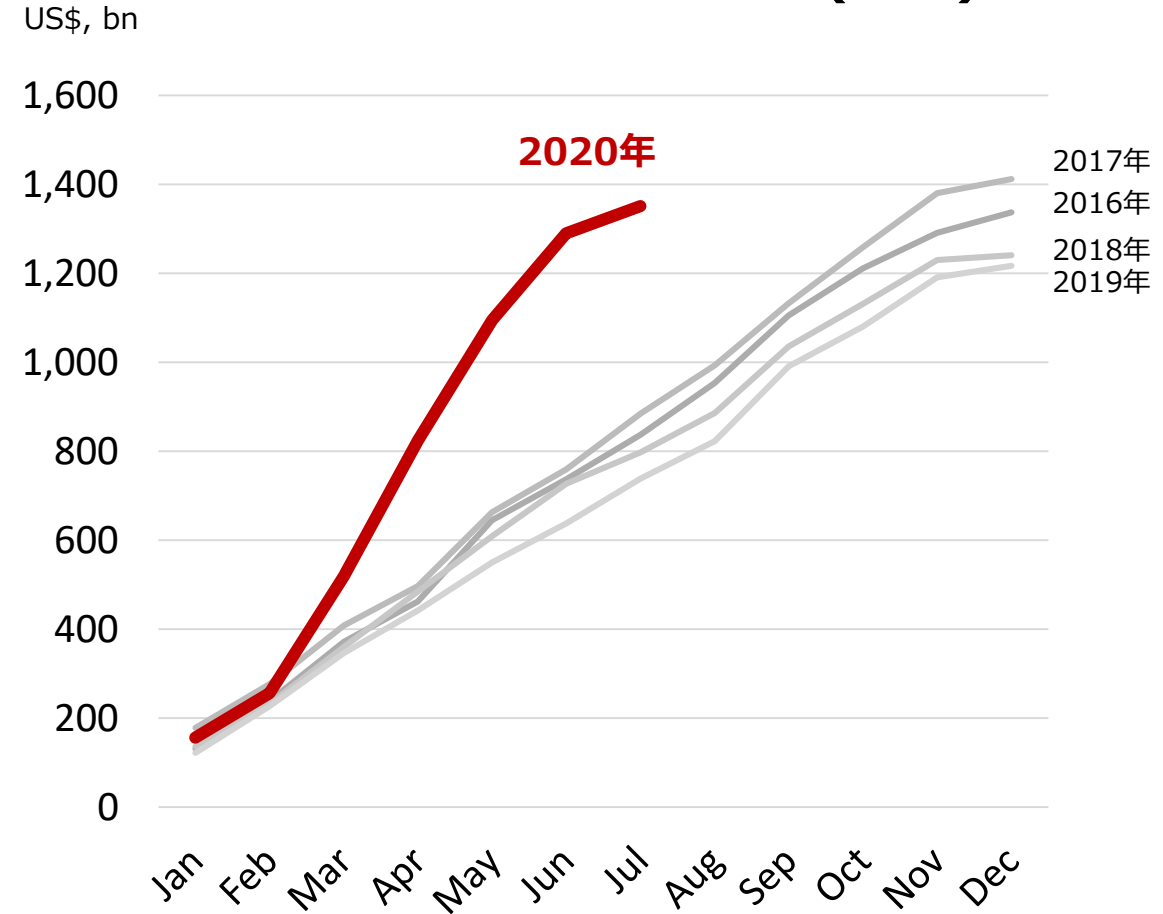
### 国内社債の買入れ (7月)

買入総額 **1,676億円** (額面総額)

### Alibabaマージンローン (7月)

全額返済 **\$9.4bn** (1.0兆円※2)

### 米国投資適格社債 発行額 (累計)



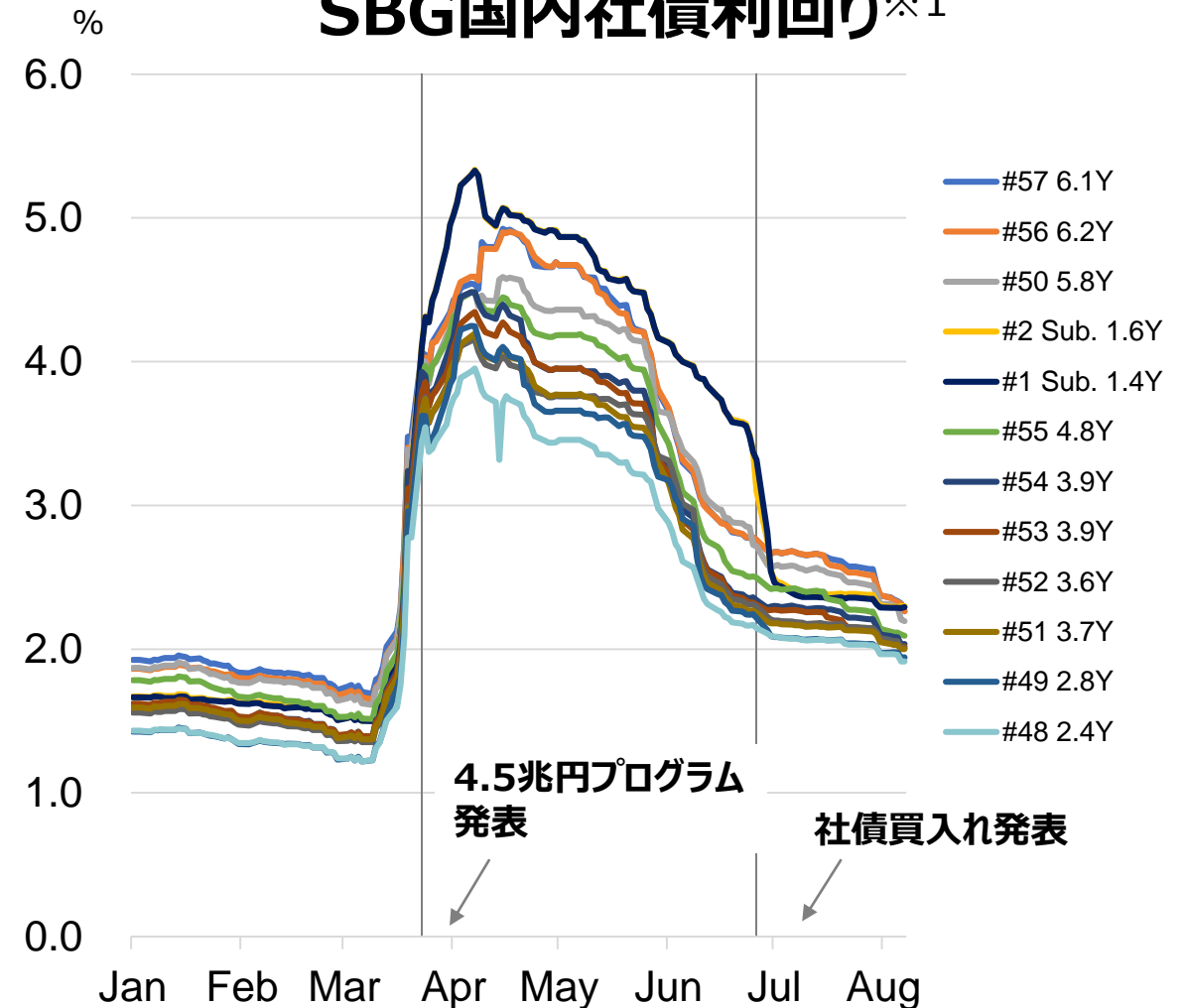
※1 上記のほか、2020年6月に1,000億円の国内社債を満期償還。当該償還資金は国内社債によってリファイナンス済み  
 ※2 1ドル=107.74円

## 前例のない国内リテール社債の大規模買入れ。需給引締めによりクレジット改善

- リテール社債の買入れは国内初  
(社債テnderオファーの仕組みなし)
- 国内で過去最大の社債買入れ
- 応募率は10%。大部分の投資家は  
継続保有の意向

買入対象社債の 発行金額	1.69兆円
応募率	10%
買入額面	1,676億円 (応募分全額買取り)

### SBG国内社債利回り※1



※1 売買参考統計値。2020年8月7日時点

## 一株当たり株主価値が向上し、当社株価の回復ペースは他銘柄をアウトパフォーム

### 自己株式取得

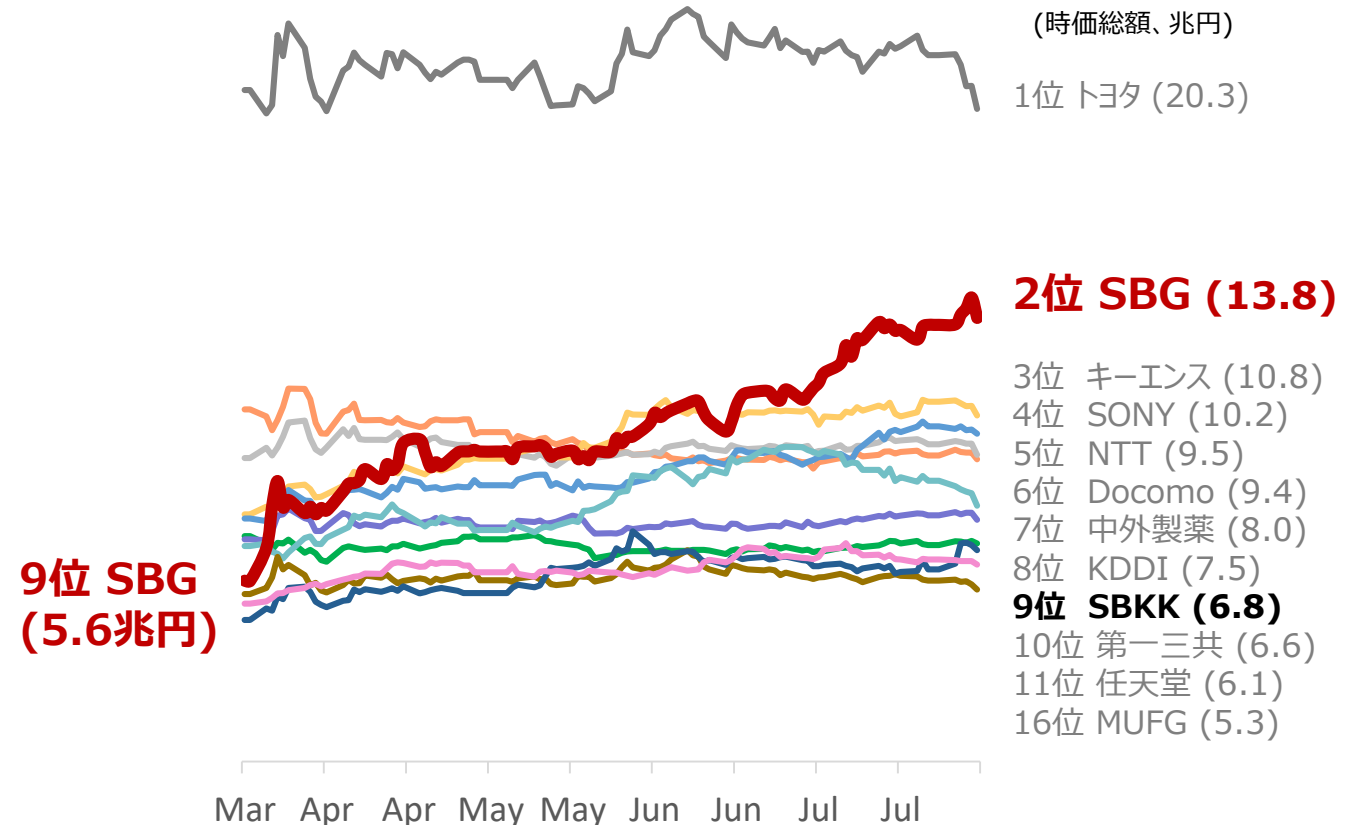
取得枠※1 **2.5兆円**

取得総額※1 **1.0兆円**  
(2020/8/3時点)

取得期間 **～2021年7月30日**

### 国内時価総額上位銘柄

(2020/3/19～7/31※2)



※1 4.5兆円プログラム発表前の2020年3月13日の取締役会決議に基づく上限5,000億円の取得枠及び5,000億円の取得実績を含む

※2 2020年3月19日: 日経平均株価が年初来安値を記録

## 世界的に見ても大規模な株主還元を財務改善とともに実施

### 2020年1月以降に日米で発表された自己株式取得枠上位10社※1

#	会社名	公表日	買付期間	プログラム金額
1	Apple	2020/4/30	—	\$50bn
2	SBG	2020/3/13 2020/3/23	1年間 (完了が2021年4月以降 になる可能性あり)	\$23bn※2 (JPY2.5tn)
3	Oracle Corporation	2020/3/12	—	\$15bn
4	Facebook	2020/1/29	—	\$10bn
4	HP	2020/2/24	1年以内に\$8bnの 買付方針	\$10bn
6	Visa	2020/1/30	—	\$9.5bn
7	S&P Global	2020/2/06	—	\$8.8bn
8	eBay	2020/1/28 2020/2/13	\$3bnは2020年に 買付の計画	\$8.0bn
9	Bristol-Myers Squibb Company	2020/2/25	—	\$5.0bn
9	Gilead Sciences, Inc.	2020/2/25	—	\$5.0bn

※1 2020年7月28日時点

※2 1ドル：107.74円

## 2010年4月以降に日本で発表された自己株式取得枠上位※1

#	会社名	決議日	取得枠 (億円)
<b>1</b>	<b>SBG</b>	<b>2020/3 ~2020/7</b>	<b>25,000</b>
2	日本郵政	2015/10/19	7,310
3	東芝	2018/11/08	7,000
4	トヨタ自動車	2015/6/16	6,000
4	NTTドコモ	2018/10/31	6,000
<b>4</b>	<b>SBG</b>	<b>2019/2/06</b>	<b>6,000</b>
7	Zホールディングス	2019/5/08	5,265
8	NTTドコモ	2016/1/29	5,000
<b>8</b>	<b>SBG</b>	<b>2016/2/15</b>	<b>5,000</b>
8	トヨタ自動車	2016/5/11	5,000

※1 2020年8月5日時点

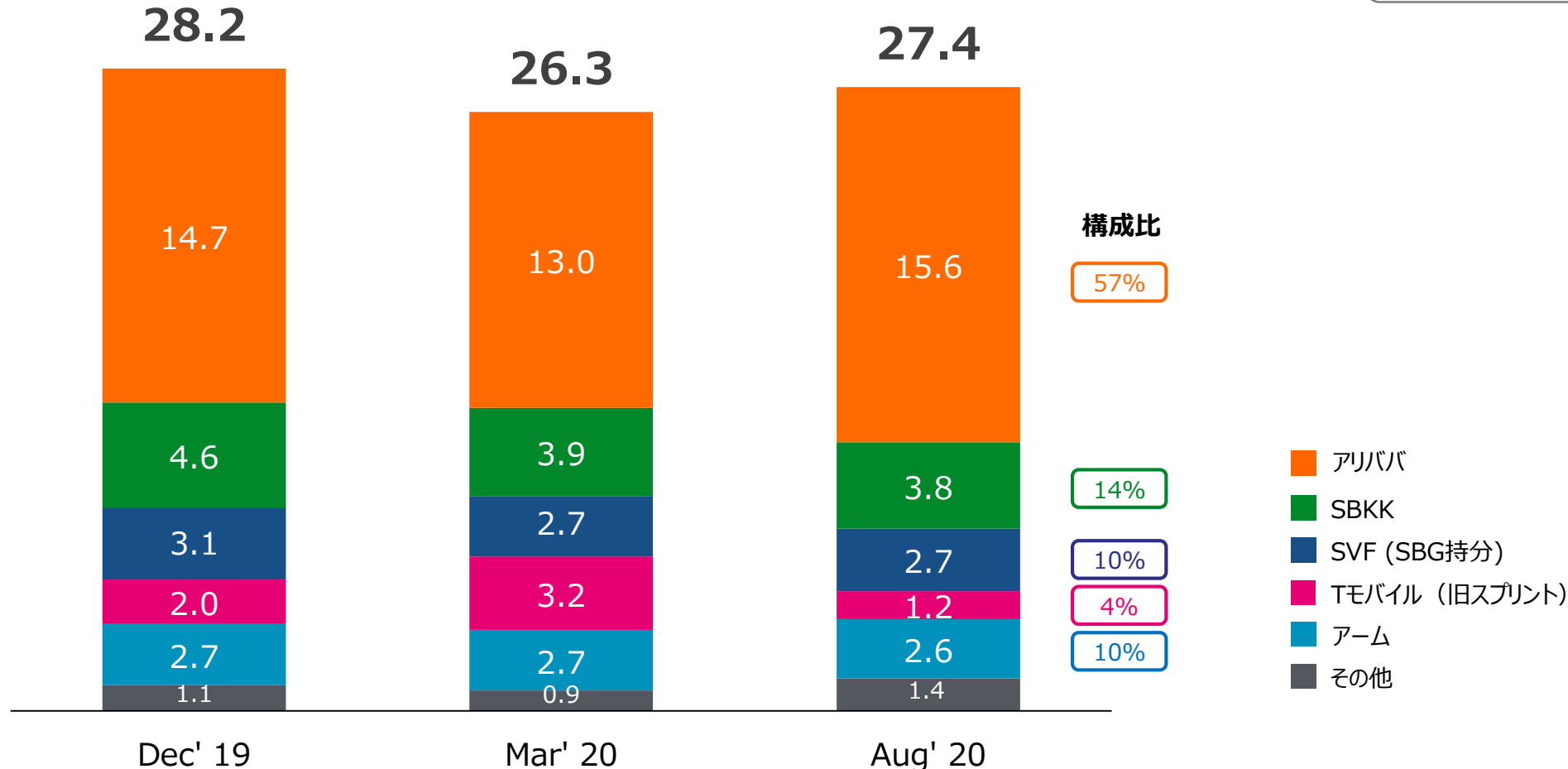
- 4.5兆円プログラムの進捗
- **保有資産の状況**
- 財務の状況
- 財務戦略



## 大規模な資金化後も、保有株式価値は27.4兆円

アセットファイナンス除く

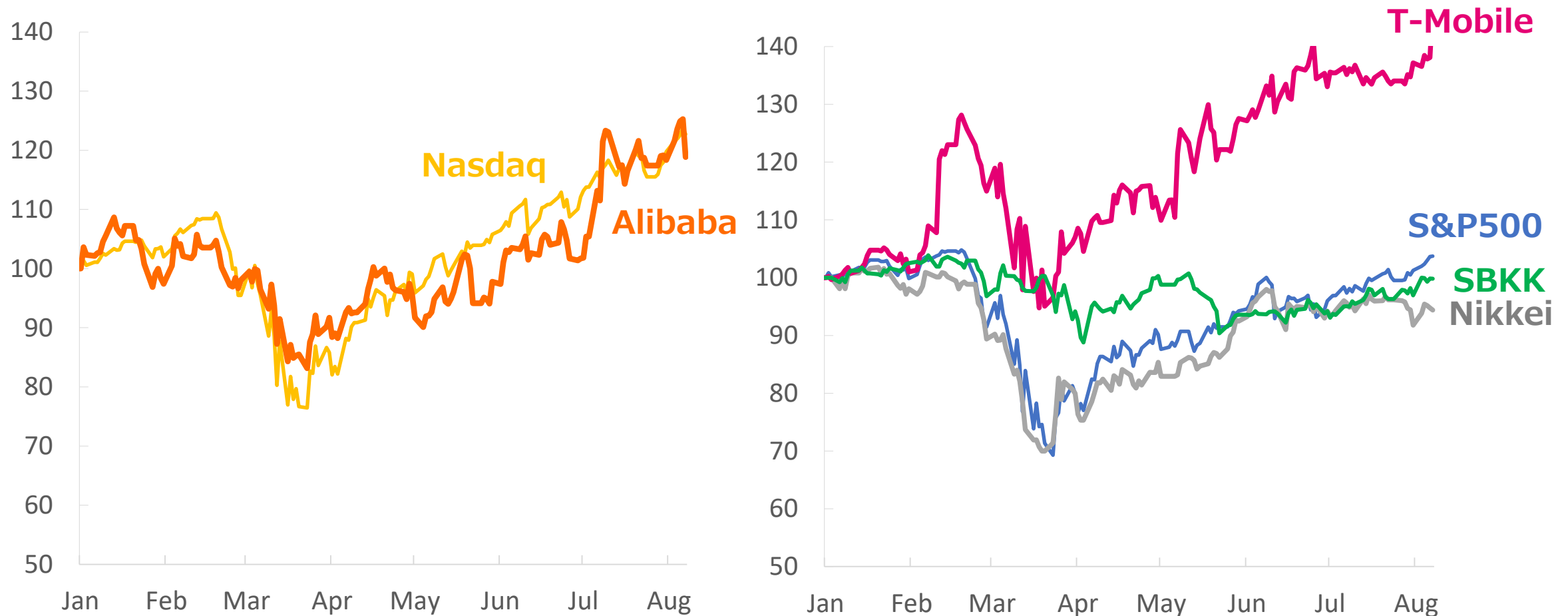
(兆円)



※ 2019年12月期および2020年3月期の株価および為替レートは、各四半期の東証最終取引日ベース。2020年8月は2020年8月10日時点(日本市場は2020年8月7日時点)

- アリババおよびSBKK: SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出。同社株式を活用したアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除
- Tモバイル (旧スプリント): SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出 (ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)を含む)。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージンローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額を控除。Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています
- アーム: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
- その他: 上場株式は、2020年6月末時点のSBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出(2020年7月1日から2020年8月11日の間に上場した会社の株式については、同期間で利用可能な最新のSBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出)未上場株式等は、公正価値に基づいて算出

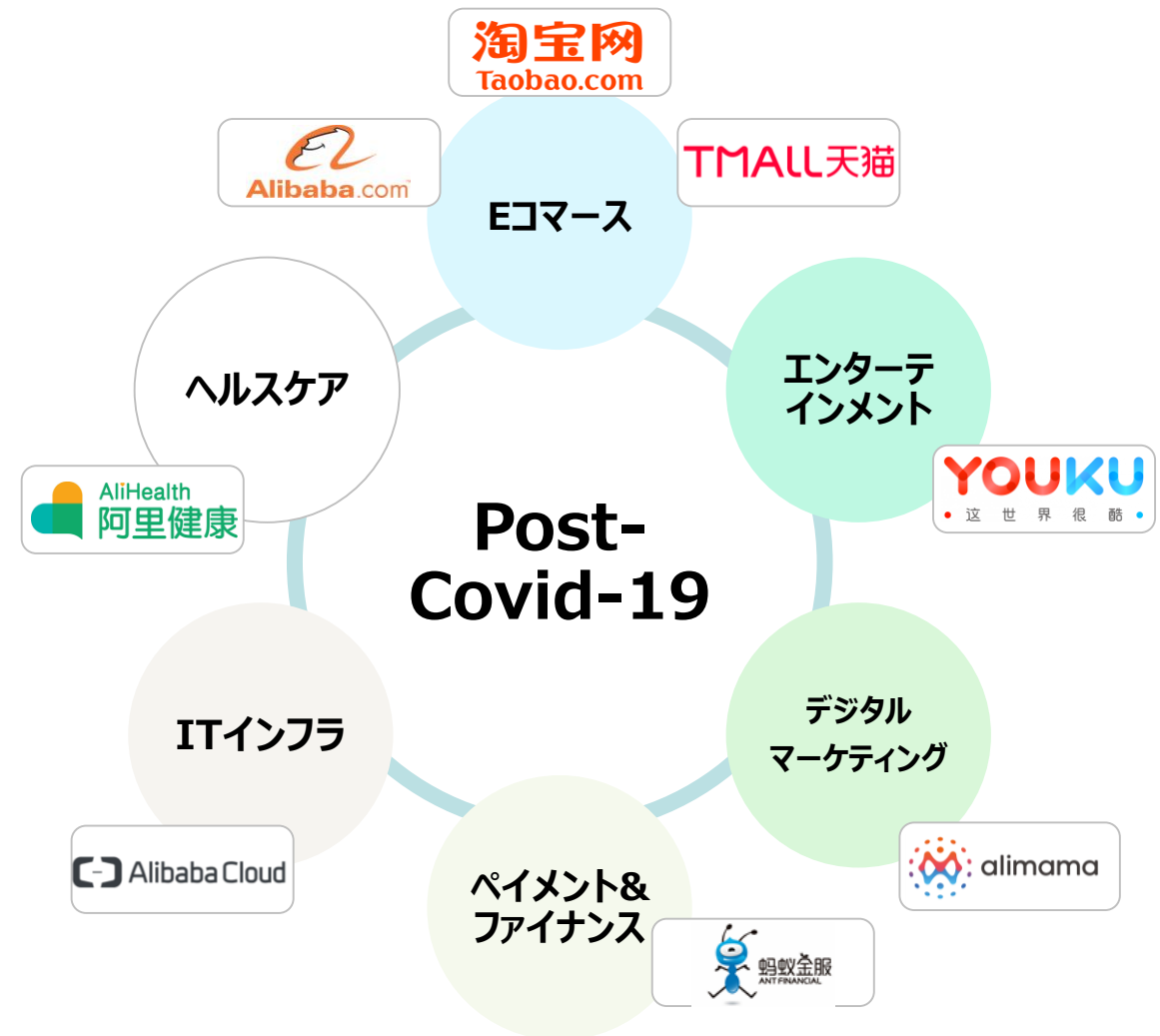
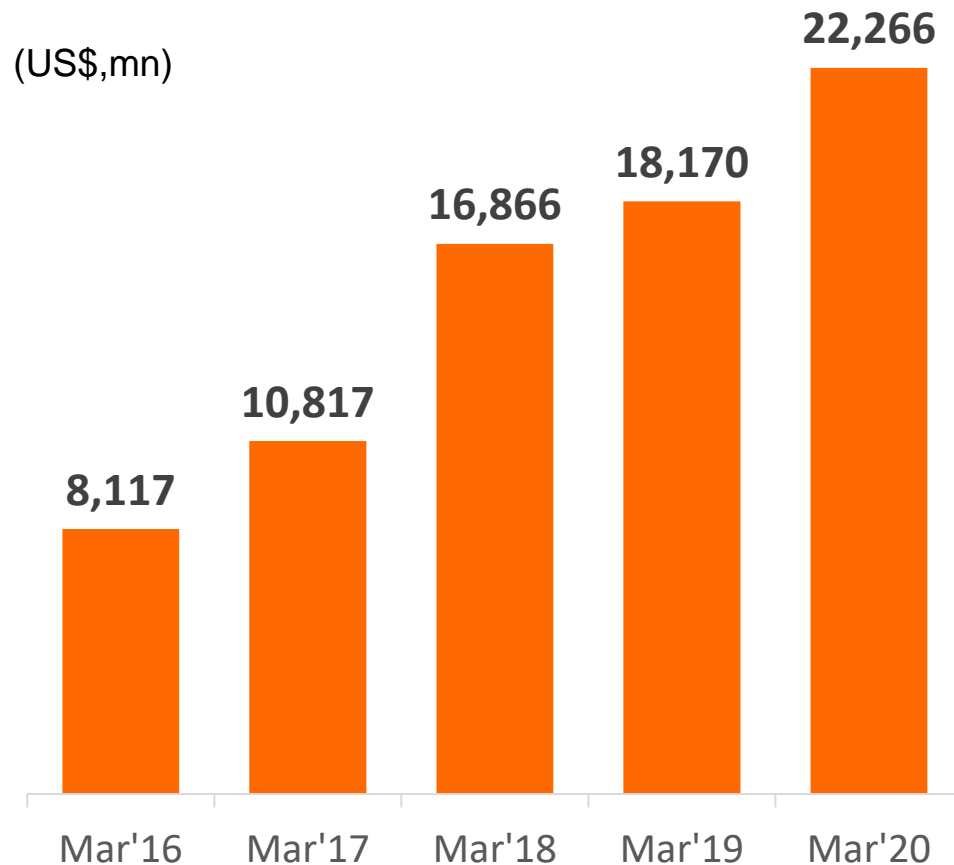
## 資金化の売り圧力をこなして、Alibaba/T-Mobile/SBKKともに堅調



※ 2020年8月7日終値ベース。2019年12月末の終値を100として指数化

## 安定した高成長を実現。ポストコロナでも強みを発揮できる事業を展開

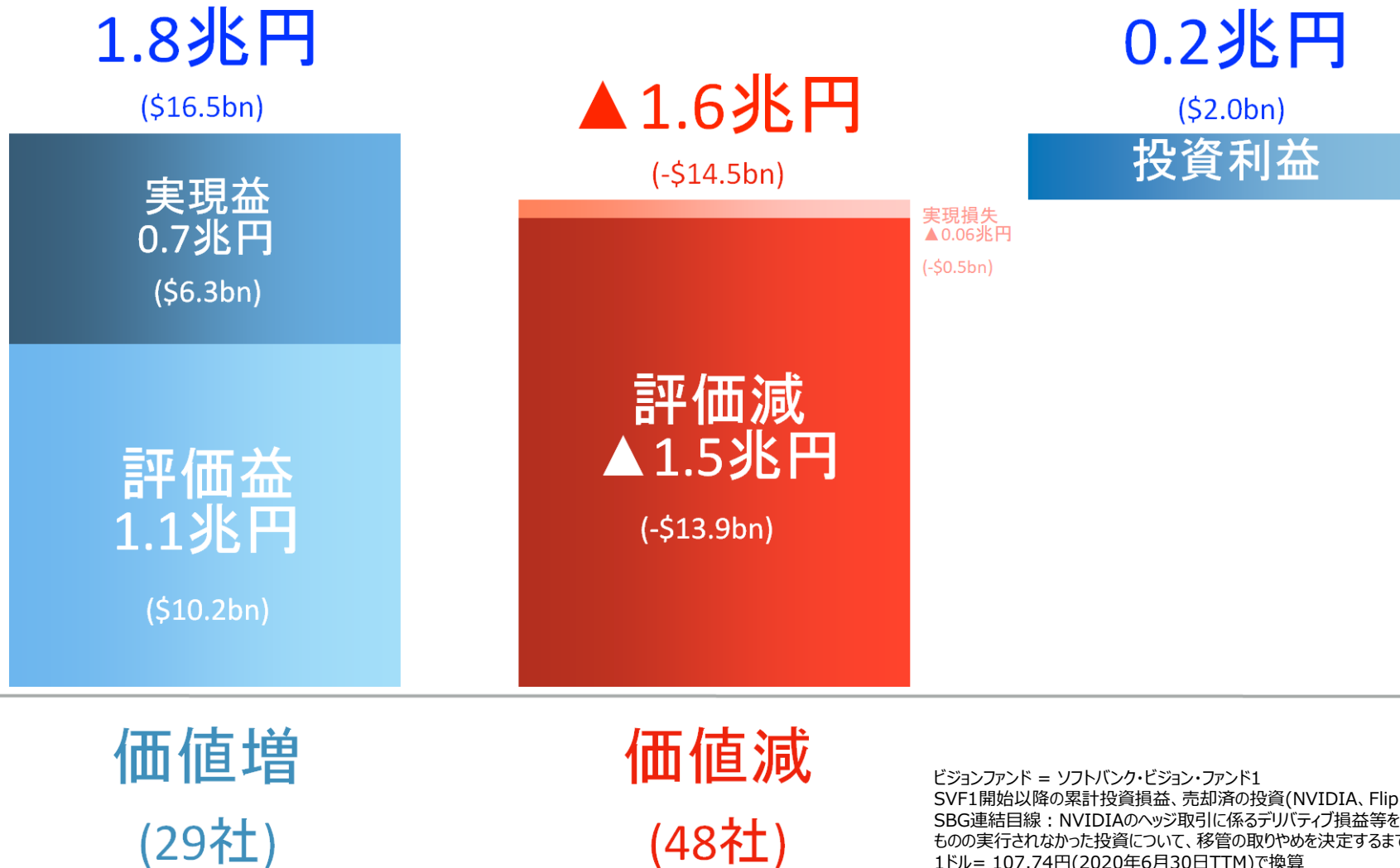
### 調整後EBITDA



※ Alibaba Group開示資料よりSBG作成

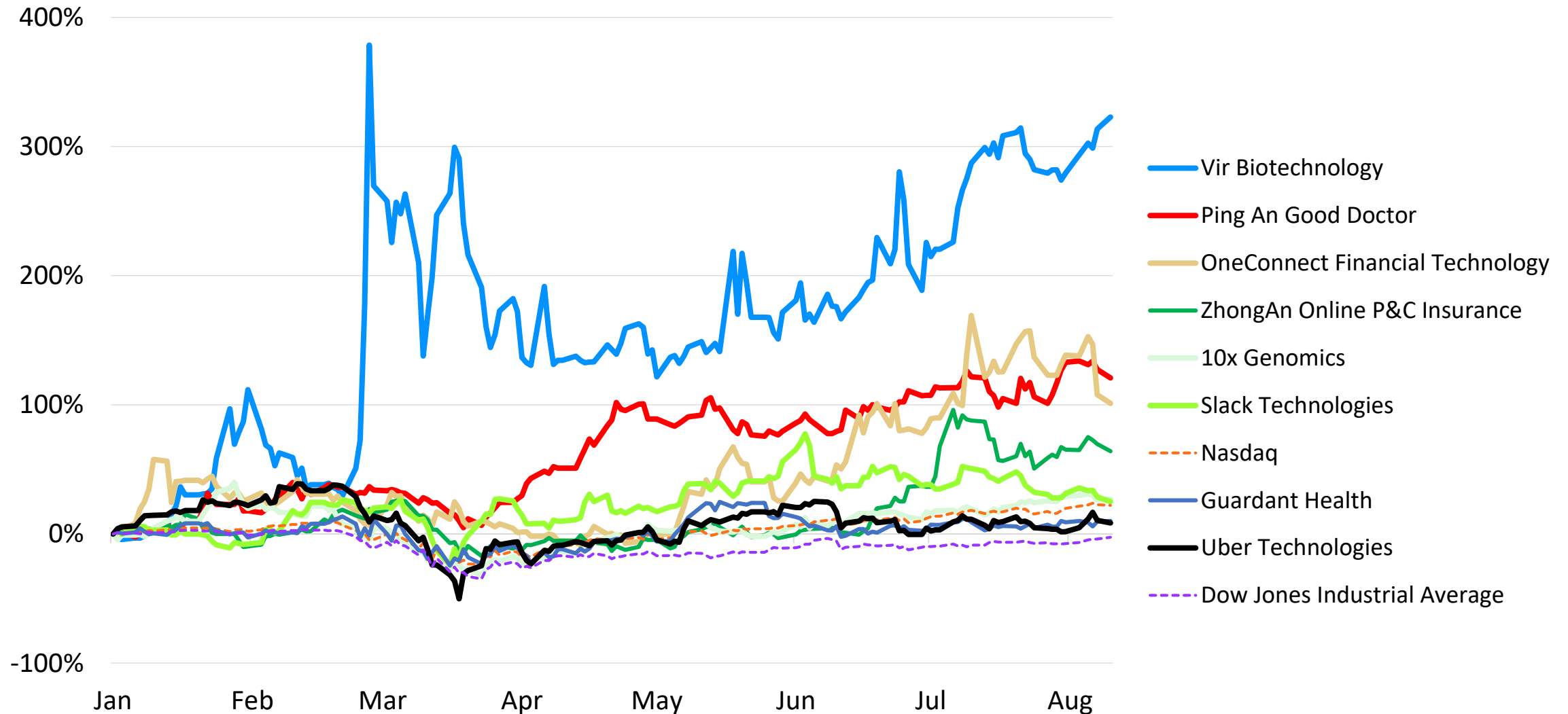
# SVF1：累計投資成果 (SBG連結目線)

(ビジョンファンド開始から2020年6月末まで)



ビジョンファンド = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1  
SVF1開始以降の累計投資損益、売却済の投資(NVIDIA、Flipkart等)を含む、税金・諸費用等考慮前  
SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。  
1ドル = 107.74円(2020年6月30日TTM)で換算  
社数にはヘッジ取引等の金融取引の件数を含む。(例：NVIDIAとNVIDIAのヘッジ取引は1社としてカウント)

# SVF1 : 上場銘柄 セカンダリーパフォーマンス (年初来)



※ 2020年8月10日時点、0% = 2019年12月末終値

※ ここに示されている測定日以降、公表されている為替レートは大幅に上昇または下落している可能性があります。過去のパフォーマンスは必ずしも将来の結果を示すものではありません。ここに掲載されている投資先企業は例示のみを目的としており、2020年6月30日のSVF1が保有する上場銘柄を示すために選択されており、SVF1による全ての投資先企業であることを意図しません。

ここに含まれた投資先企業に言及していることは、いずれか特定の投資対象又は証券への推奨として解釈してはなりません。将来行われる投資が、ここに掲載された投資先企業の質、パフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではありません。

SVF1による投資先企業の完全なリストについては、[visionfund.com/portfolio](http://visionfund.com/portfolio)をご参照ください。

# SVF1 : 上場銘柄 (2020年8月10日時点)

(\$ mil)	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)
会社名	累計投資額	累計時価 ※1 (クロス)	累計損益 (クロス)	倍率 ※2
Guardant Health	308	2,332	+\$2,024	7.6x
Vir Biotechnology	199	1,203	+\$1,004	6.1x
Relay Therapeutics	300	1,147	+\$847	3.8x
Slack	334	1,006	+\$672	3.0x
PingAn Good Doctor	400	861	+\$461	2.2x
10x Genomics	31	336	+\$305	10.8x
OneConnect	100	90	-\$10	0.9x
ZhongAn	550	433	-\$117	0.8x
Uber	7,666	7,171	-\$495	0.9x
<b>上場投資 合計 (クロス) ※3</b>	<b>\$9,887</b>	<b>\$14,578</b>	<b>+\$4,691</b>	<b>1.5x</b>

1. 累計時価 = 売却前の投資先の公正価値 + 売却済の投資先の売却価額。売却済の投資先の売却価額は取引手数料、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

2. 倍率 : Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。累計リターンを累計投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

3. 上場投資 合計 : SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計



## SoftBank Vision Fund 1 86社

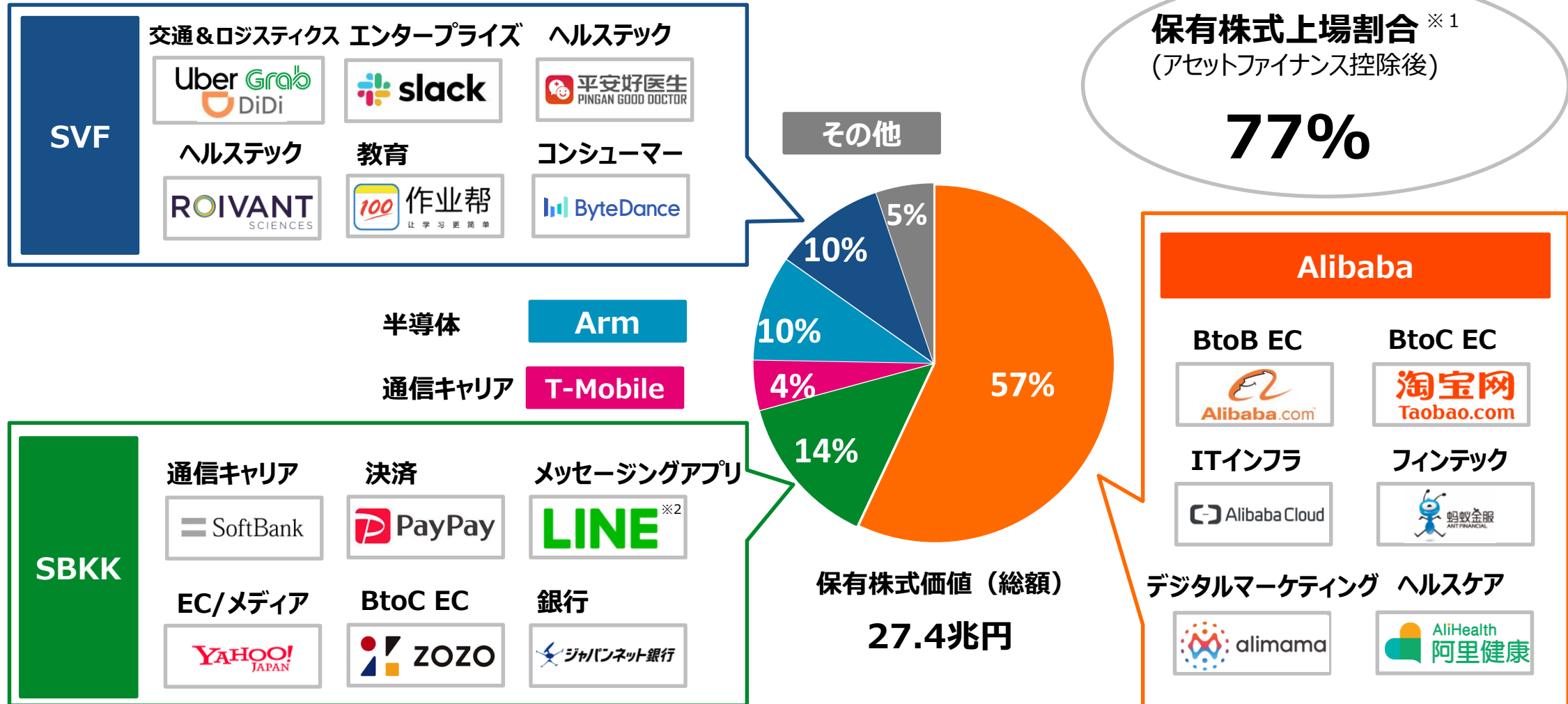
上場会社9社

									+ JV / 関連会社等 (14社)

※ 2020年6月30日時点の投資先。Relay Therapeutics Incは、2020年7月16日に上場

# SBGのポートフォリオの強み

## 上場比率が77%と高く、また各投資先が幅広い事業を展開



※ ここに掲載されたSVF1による投資先企業は、例示のみを目的としており、SBIによる投資先企業が分散されていることを示すために選択され、SVF1による全ての投資先企業であることを意図しません。ここに含まれた投資先企業に言及していることは、いずれか特定の投資対象又は証券への推奨として解釈してはなりません。将来行われる投資が、ここに掲載された投資先企業の質、パフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではありません。SVF1による投資先企業の完全なリストについては、[visionfund.com/portfolio](http://visionfund.com/portfolio)をご参照ください。SBIはSoftBank Groupの登録アドバイザーであり、独立した関連会社であり、SoftBank Groupとは異なる手順に従い、異なる運用しています。

※1 Alibaba, SBKK, T-Mobile, その他の上場株式の内、SBGに帰属する分

※2 2021年3月頃にZHDとLINE間の経営統合が完了予定



**設立目的**：余剰資金の運用とアセットの多様化

**資本金**：600億円 (\$555mil)

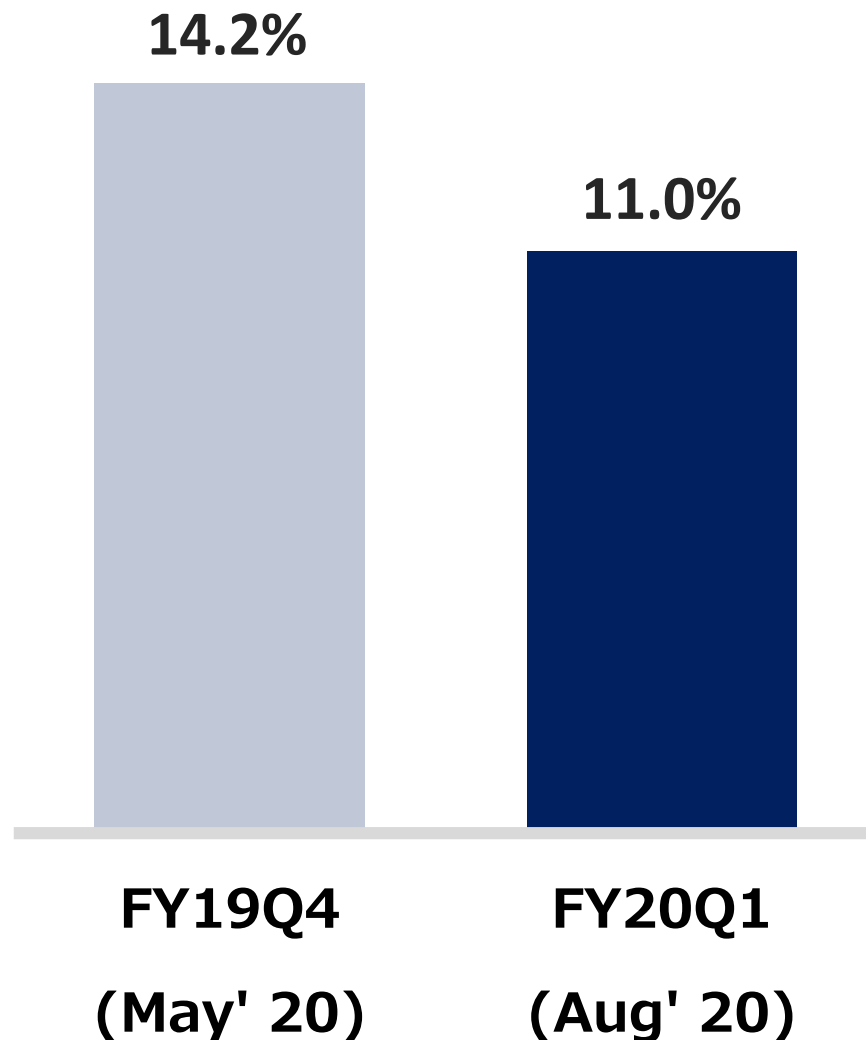
**株主構成**：SBG 67% 孫正義 33%

**運用対象**：主に流動性の高い上場株等

**運用手法**：直接投資・デリバティブ等

- 4.5兆円プログラムの進捗
- 保有資産の状況
- **財務の状況**
- 財務戦略

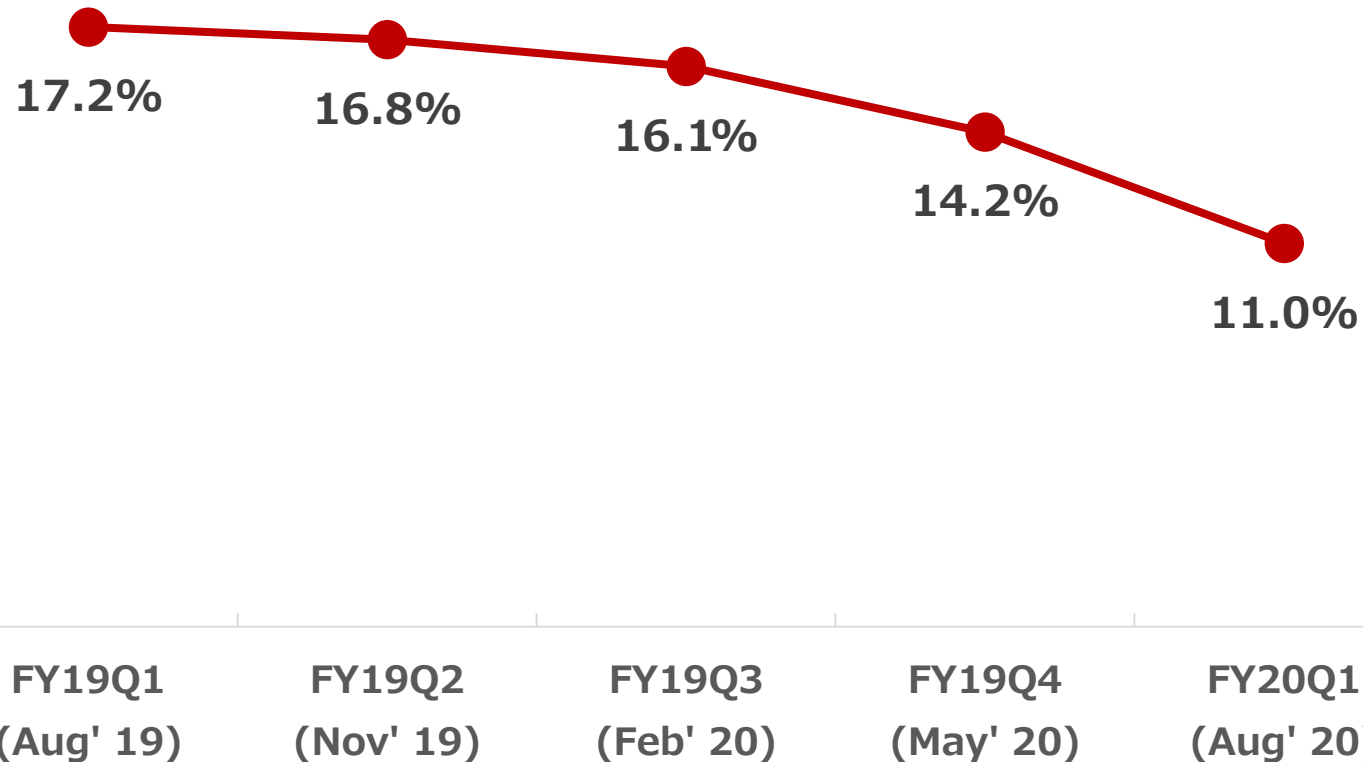
アセットファイナンス除く



**資産売却と保有資産の  
株価上昇により3pt改善  
大きな財務バッファを確保**

アセットファイナンス除く

25%

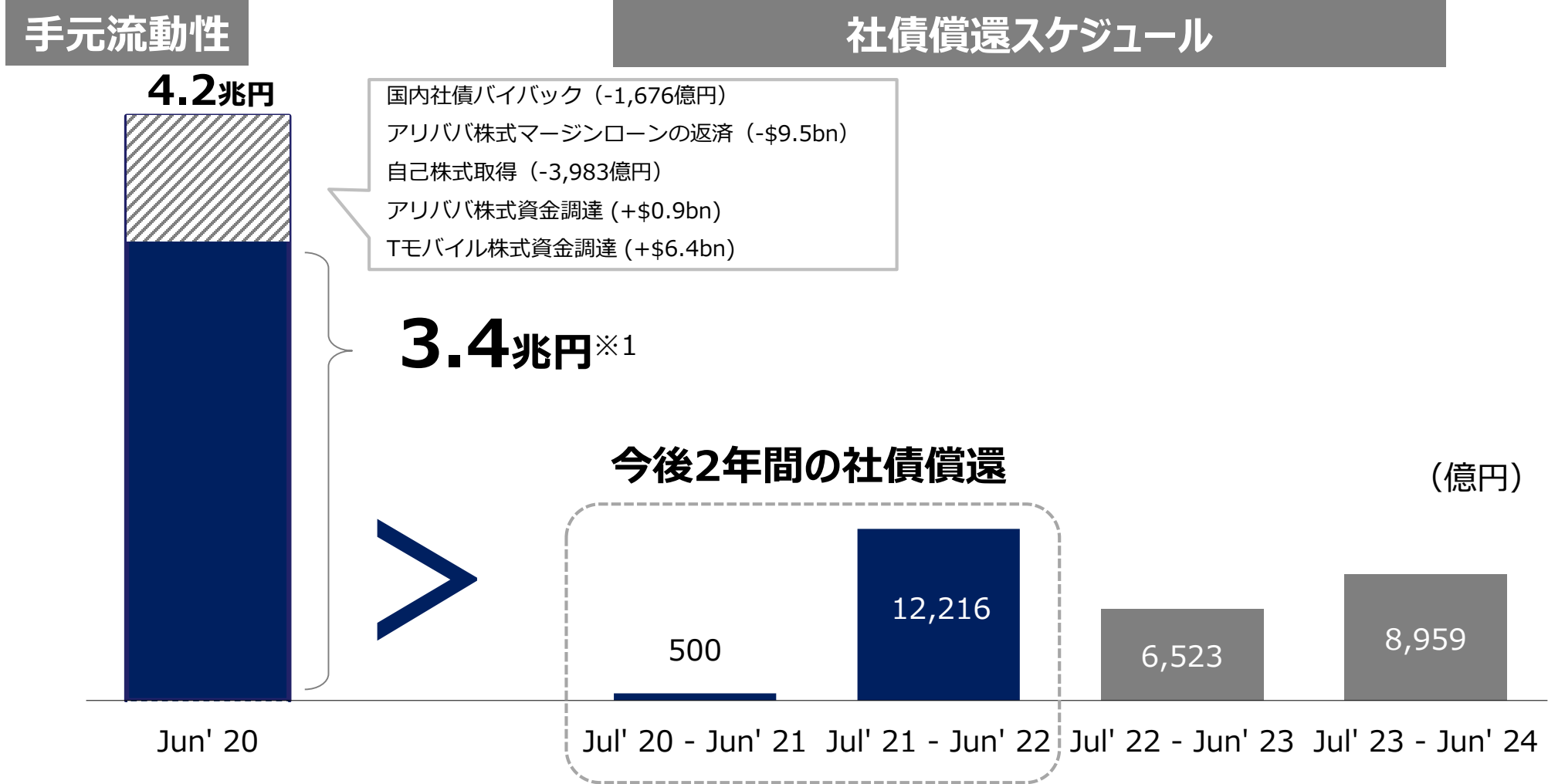


2年以上にわたり  
LTVベースの  
財務コミットを順守

※1 各四半期の決算発表時点の数値を記載

※2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

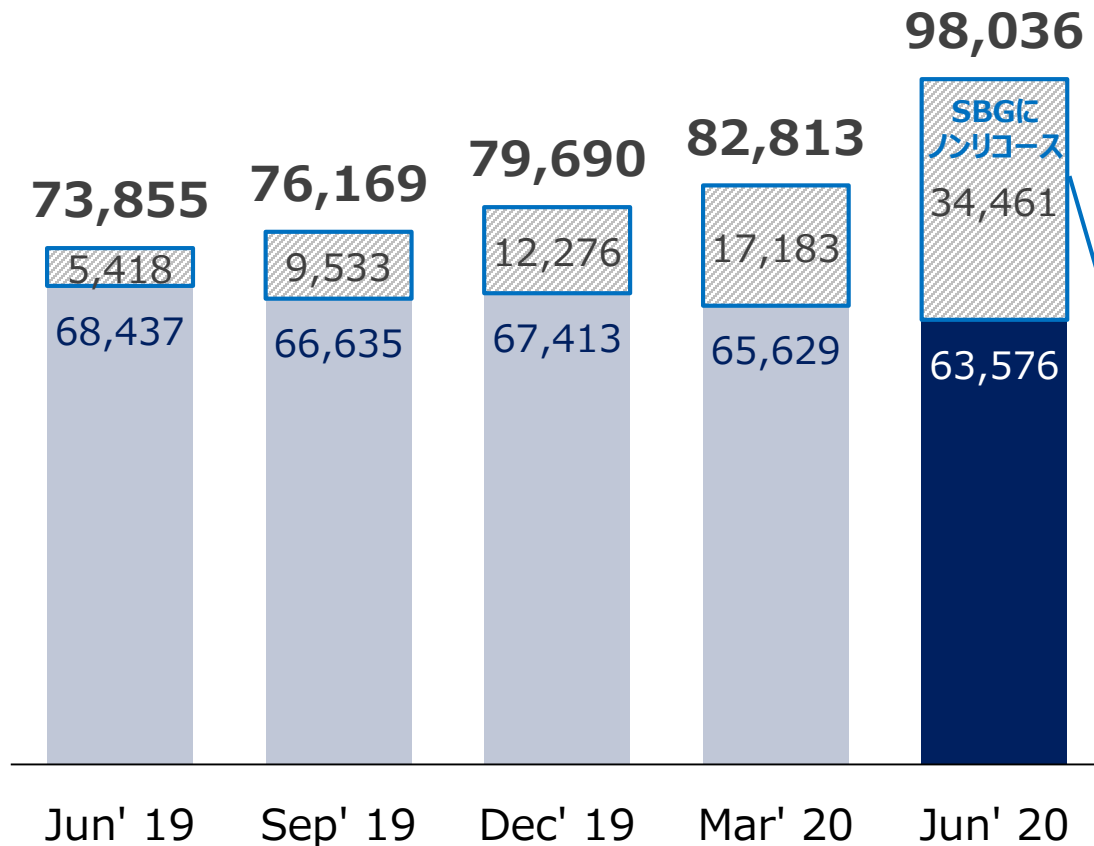
## 潤沢な手元流動性を維持（今後の社債償還資金4年分を上回る）



※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。SBG単体ベース  
 ※2 2020年6月30日時点のコミットメントラインの未使用枠はゼロ  
 ※3 社債償還金額はバイバックにより取得した自己保有社債および2020年7月に買入消却した国内社債を除く

## アリババ株式資金化により株式先渡契約金融負債(ノンリコース)が1.7兆円増加

(億円)



### 2020年3月末からの主な変動要因

- 銀行ローン・CPの増減 (-2,015億円)
- 株式先渡金融負債 (+17,370億円)

### 2020年6月末 内訳

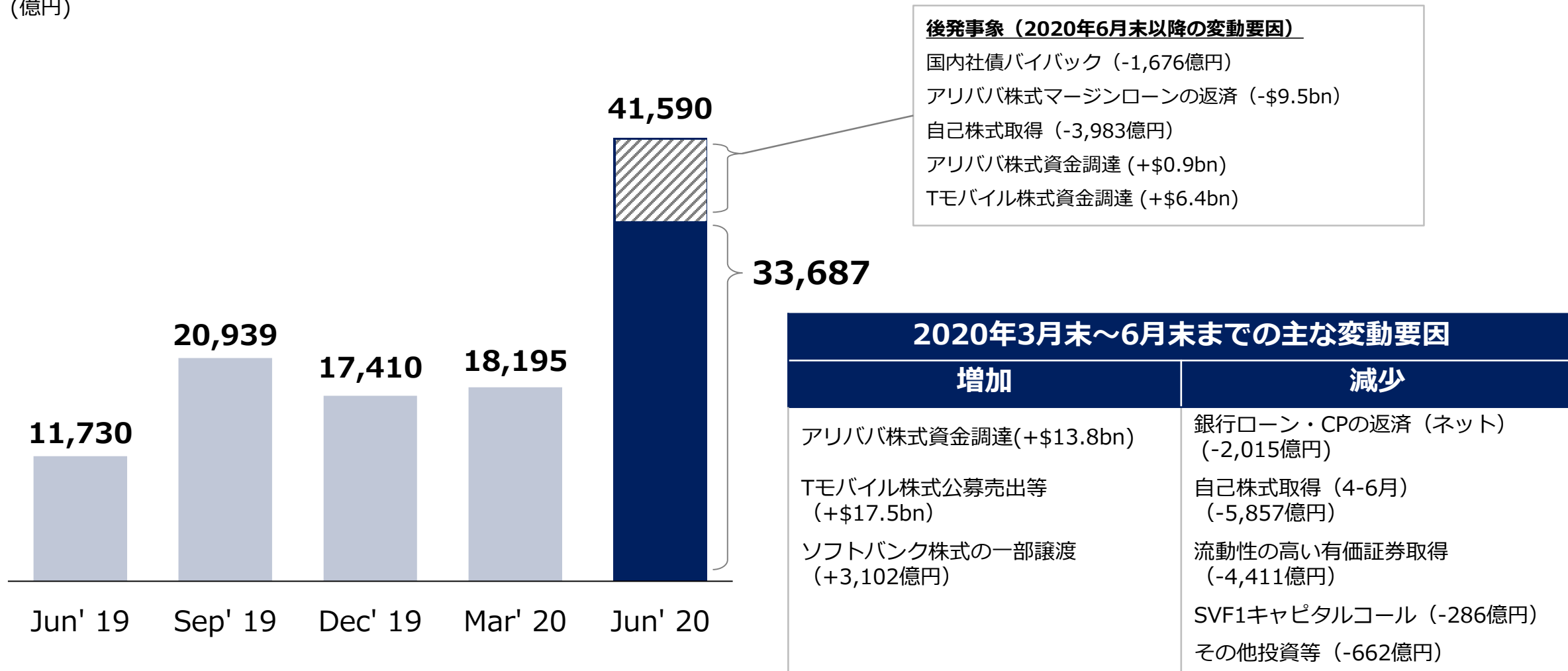
(億円)

SBG 借入金	
銀行ローン	12,509
ハイブリッドローン	832
その他	7
小計	13,348
SBG 社債・CP	
国内シニア債	23,522
国内劣後債/ハイブリッド債	13,104
外債	12,764
CP	450
小計	49,840
子会社 有利子負債	
マージンローン(SBGにノンリコース)	15,130
株式先渡契約金融負債	19,331
その他	387
小計	34,848
<b>合計</b>	<b>98,036</b>

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

## 保有株式の資金化により大幅増加。今後は還元などに活用

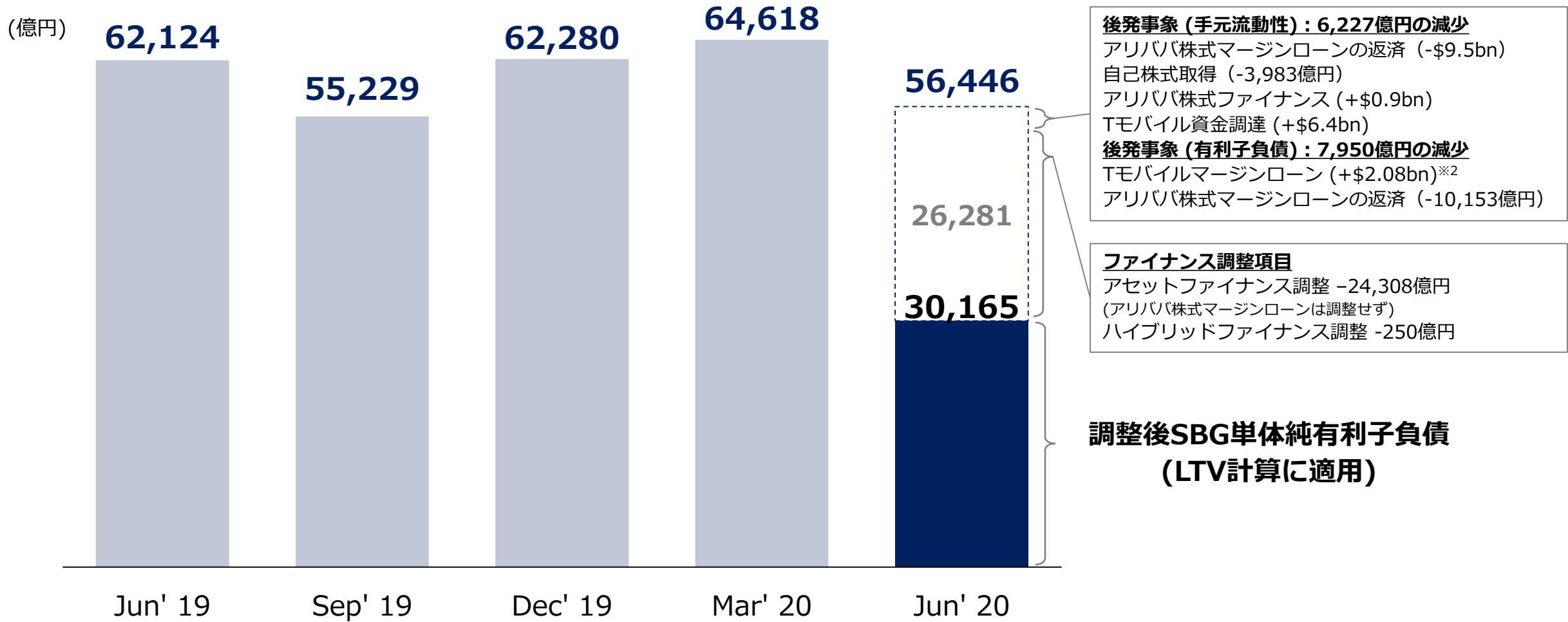
(億円)



※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資

## 4.5兆円プログラムの進展により大きく減少

アセットファイナンス除く  
※Jun' 20のみ



**後発事象 (手元流動性) : 6,227億円の減少**  
 アリババ株式マージンローンの返済 (-\$9.5bn)  
 自己株式取得 (-3,983億円)  
 アリババ株式ファイナンス (+\$0.9bn)  
 Tモバイル資金調達 (+\$6.4bn)

**後発事象 (有利子負債) : 7,950億円の減少**  
 Tモバイルマージンローン (+\$2.08bn)※2  
 アリババ株式マージンローンの返済 (-10,153億円)

**ファイナンス調整項目**  
 アセットファイナンス調整 -24,308億円  
 (アリババ株式マージンローンは調整せず)  
 ハイブリッドファイナンス調整 -250億円

**調整後SBG単体純有利子負債  
(LTV計算に適用)**

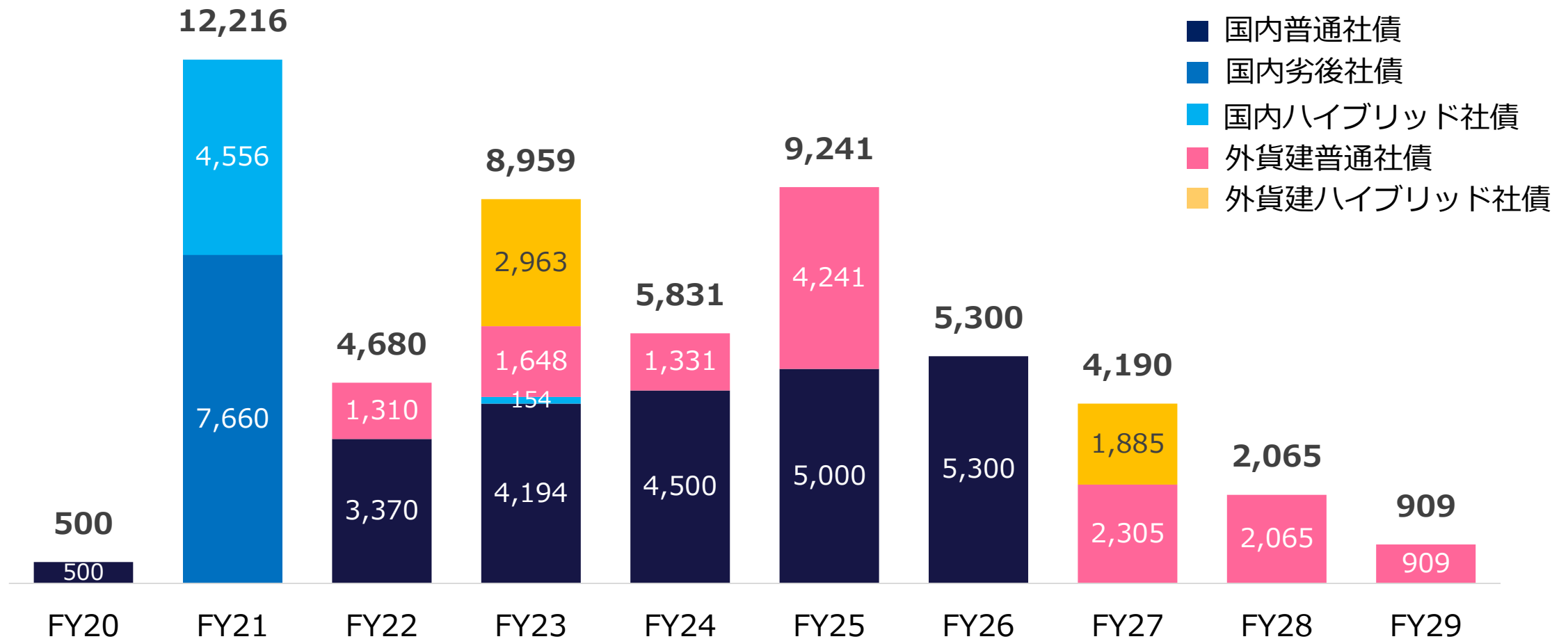
※1 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載  
 ※2 Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージン・ローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています



# 社債償還スケジュール (国内社債買入れ後)

## リファイナンスを中心に多様な返済オプションを検討

(億円)



※1 2020年8月11日時点発行残高

※2 ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース

※3 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=107.74円にて換算

※4 バイバックにより取得した自己保有社債および2020年7月に買入消却した国内社債を除く

- 4.5兆円プログラムの進捗
- 保有資産の状況
- 財務の状況
- **財務戦略**

## あらゆる変化に適応できる柔軟な財務運営

財務方針の堅持

市場環境に応じた  
機動的な財務運営

**1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)**

**2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持**

**3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保**

投資先の財務は  
独立採算

救済投資は  
行わない

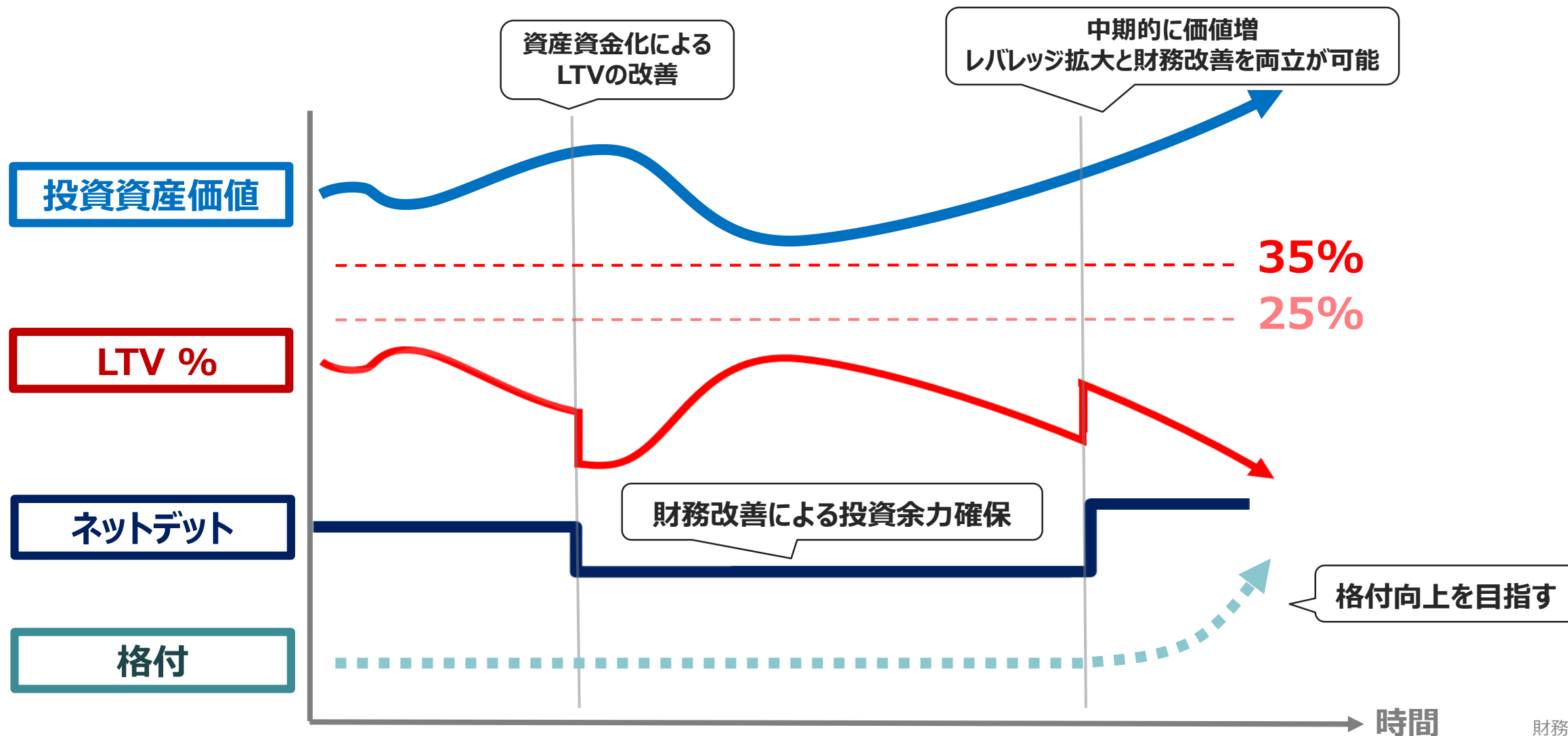
## 4.5兆円プログラムの実施による株主還元と財務改善の両立

新規投資と回収のバランスを適切にコントロール  
(投資機会の到来に備える)

市場との対話を重視した財務運営

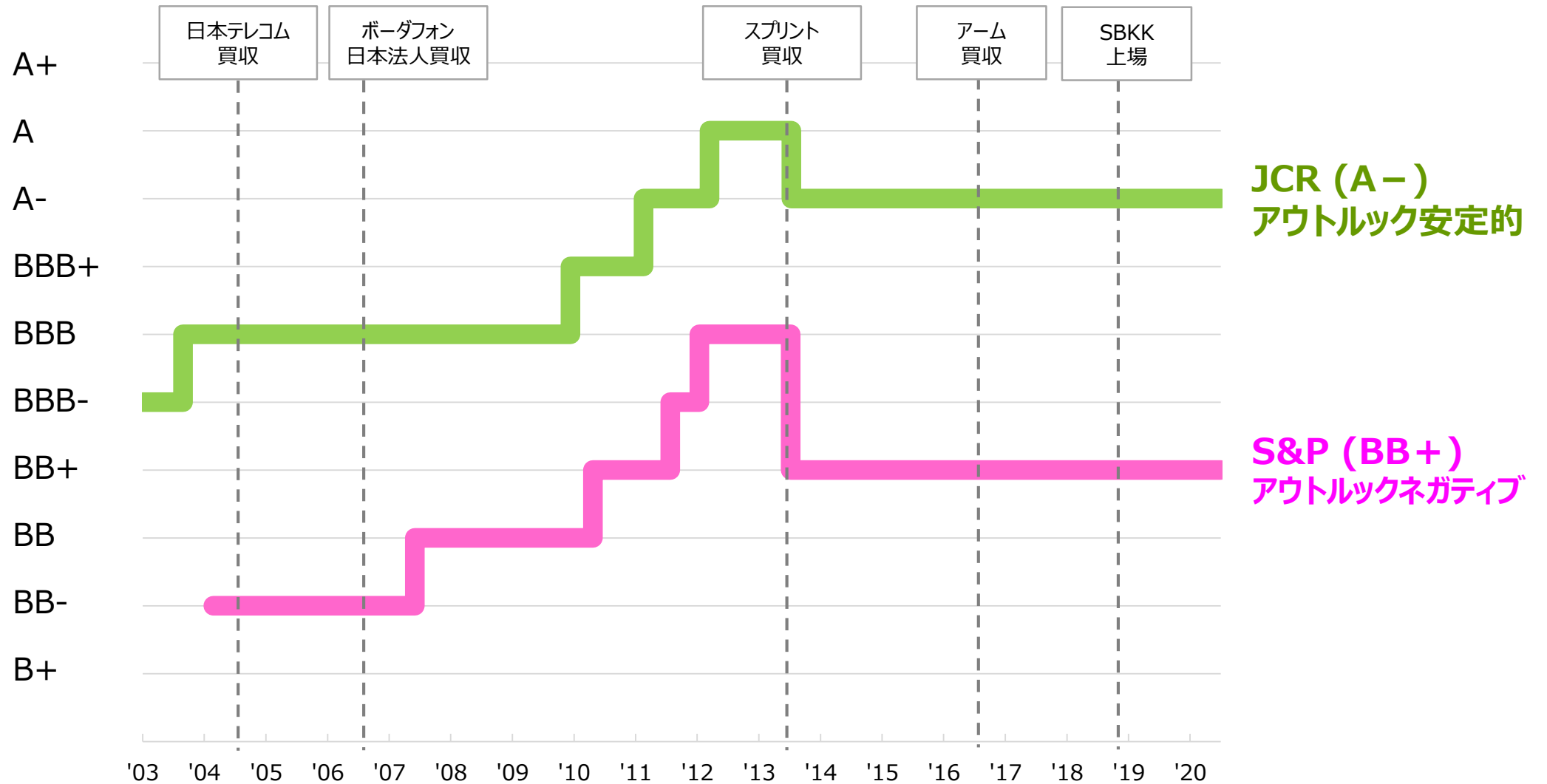
# Appendix

## コロナ禍のもと、資産資金化による保守的な財務運営を実施 財務安定性を確保し、今後の投資機会の到来に備える





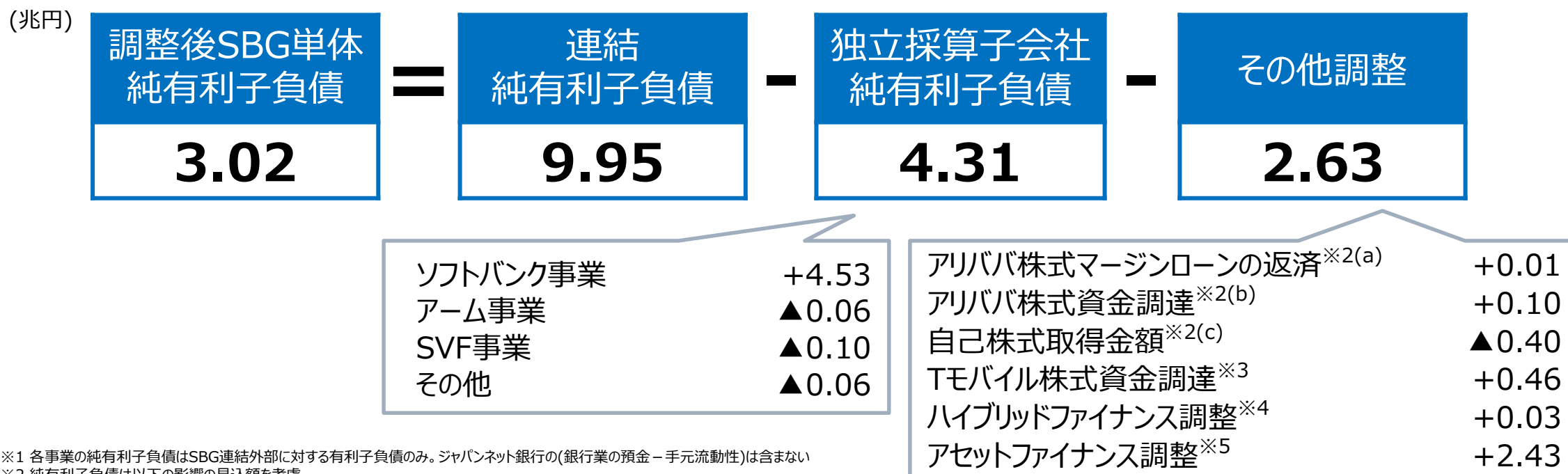
## 投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



**(L) 調整後**  
**SBG単体 純有利子負債** 3.02兆円 = **11.0%**  


---

**(V) SBG単体 保有株式価値** 27.40兆円



※1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。ジャパネット銀行の(銀行業の預金－手元流動性)は含まない

※2 純有利子負債は以下の影響の見込額を考慮

a) 2020年7月のアリババ株式を活用したマージンローンの全額返済に係る現金支出(10,020億円)を加算、負債残高相当額(10,153億円)を控除(134億円の純有利子負債の減少)

b) 2020年7月に実行された、アリババ株式を活用したカー契約の調達金額の合計額(980億円)を控除

c) 2020年7月1日から2020年8月3日までにSBGが取得した自己株式の取得価額の総額(3,983億円)を加算

※3 Tモバイル株式を活用した資金調達について以下の影響の見込額を考慮

- 2020年8月のTモバイルの株主割当による株式募集の売却に係る調達資金(2,155億円)を純有利子負債から控除

- 2020年7月の同社株式を活用したマージンローンによる調達資金のうちノンリコースのアセットファイナンスとしている金額(2,437億円)を純有利子負債から控除。(Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています。)

※4 2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。

2016年9月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除

※5 2020年6月30日までに実行された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(先渡契約、フロア契約、カー契約)に係る株式先渡契約金融負債(19,331億円)およびSBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額(4,977億円)の合計

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債 3.02兆円

---

(V) SBG単体 保有株式価値 27.40兆円 = **11.0%**

(兆円)

SBG単体 保有株式価値	=	主要株式	+	SVFを通じた 投資資産	+	その他
27.40		23.25		2.74		1.41

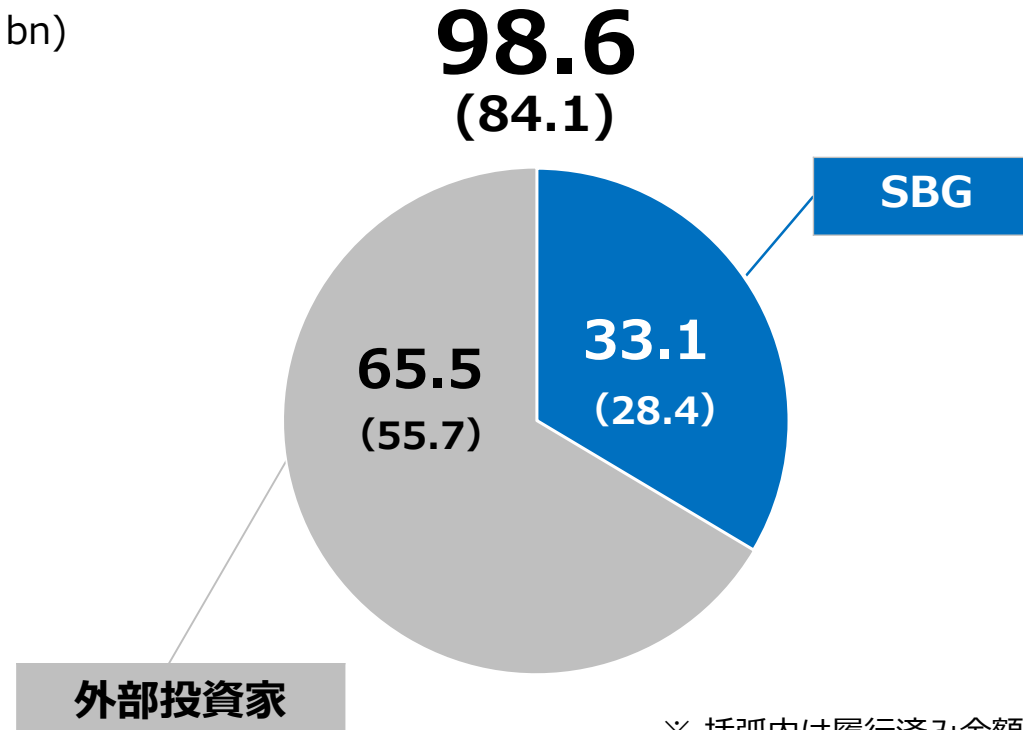
アリババ	+17.71	SBKK	+4.29	Tモバイル	+1.47
アセットファイナンス	▲2.09	アセットファイナンス	▲0.50	アセットファイナンス	▲0.24
<b>アリババ (調整後)</b>	<b>+15.62</b>	<b>SBKK (調整後)</b>	<b>+3.79</b>	<b>Tモバイル (調整後)</b>	<b>+1.23</b>
				<b>アーム</b>	<b>+2.61</b>

※ 上場株価および為替レートは、2020年8月10日時点（日本市場は2020年8月7日時点）

- アリババ：SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出。下記の同社株式を活用したアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除  
2020年6月30日までに実行された、同社株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約、フロア契約、カラー契約・コールスプレッド）の満期決済金額（2020年8月10日の同社株価で算出）の合計額（1兆9,873億円）  
2020年7月に実行された、同社株式を活用したカラー契約の満期決済金額（2020年8月10日の同社株価で算出）（1,059億円）
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したマージンローン負債残高相当額(4,977億円)を控除
- Tモバイル：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値(3,260億円)を加算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額(1,475億円)およびTモバイル株式を担保としたマージンローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額(2,437億円)を控除。Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
- その他：上場株式は、2020年6月末時点のSBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出(2020年7月1日から2020年8月11日の間に上場した会社の株式については、同期間で利用可能な最新のSBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出)。未上場株式等は、公正価値に基づいて算出

## 出資コミットメント (2020年6月末)

(\$ bn)

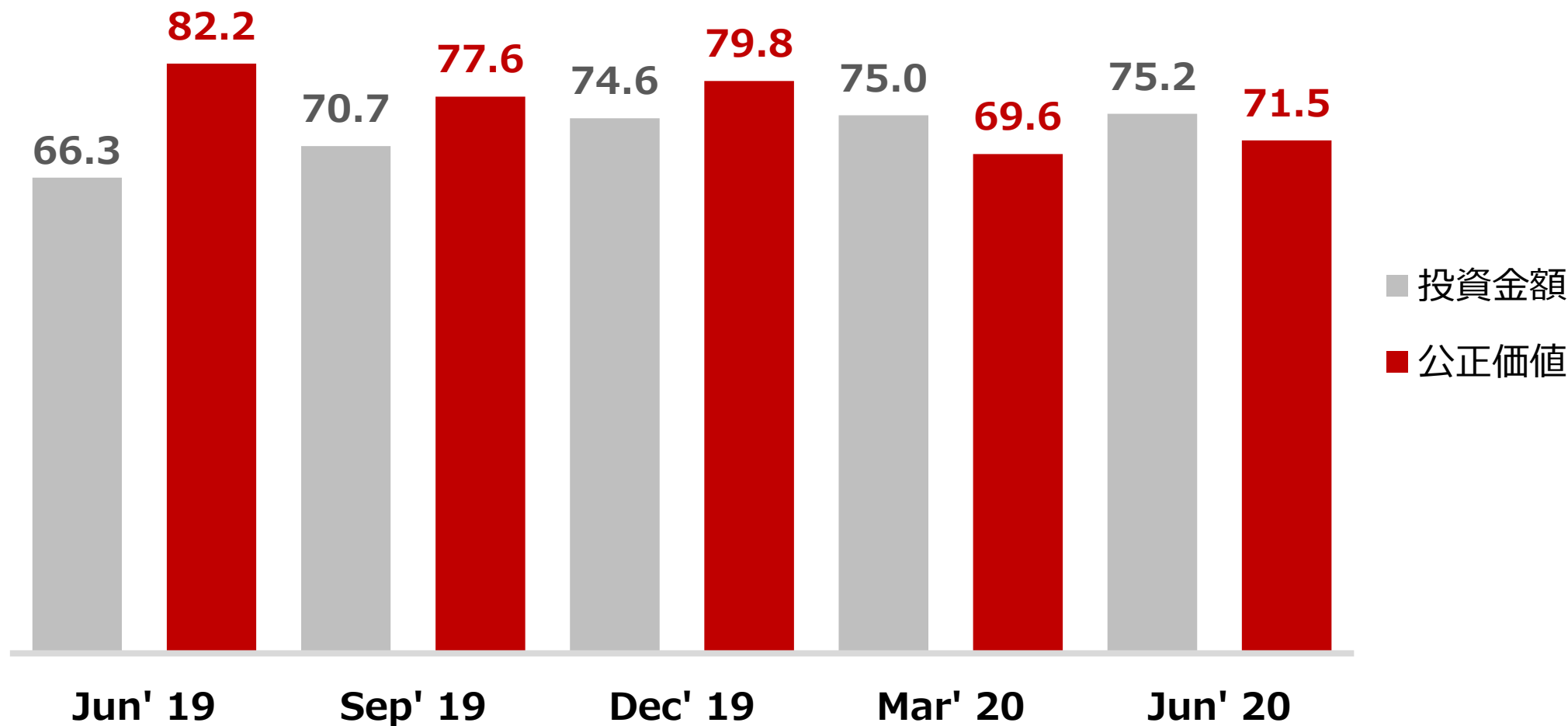


※ 括弧内は履行済み金額

※1 SVF1へのSBGの出資コミットメントは、Arm Limited株式を活用した約82億米ドル相当の支払義務履行分（前期末までに全該当株式を抛済済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の50億米ドルを含む

# SVF1 : 投資資産価値 (SBG連結)

(\$bn)



※ 売却済みの投資を含まない

# SVF1 : 上場銘柄 (2020年6月末時点)

(\$ mil)	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)
会社名	累計投資額	累計時価 <sup>*1</sup> (クロス)	累計損益 (クロス)	倍率 <sup>*2</sup>
Guardant Health	308	2,265	+\$1,957	7.4x
Vir Biotechnology	199	927	+\$728	4.7x
Slack	334	1,012	+\$678	3.0x
PingAn Good Doctor	400	836	+\$436	2.1x
10x Genomics	31	326	+\$295	10.5x
OneConnect	100	81	-\$19	0.8x
ZhongAn	550	356	-\$194	0.6x
Uber	7,666	6,907	-\$759	0.9x
<b>(A) 上場投資 合計 (クロス)<sup>*3</sup></b>	<b>\$9,587</b>	<b>\$12,709</b>	<b>+\$3,121</b>	<b>1.3x</b>
(B) 未上場投資+売却済投資等	\$72,700	\$71,559	-\$1,141	
<b>(A)+(B) SVF1 合計 (SBG連結目録)</b>	<b>\$82,287</b>	<b>\$84,268</b>	<b>+\$1,980</b>	

1. 累計時価 = 売却前の投資先の公正価値 + 売却済の投資先の売却価額。売却済の投資先の売却価額は取引手数料、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

2. 倍率 : Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。累計リターンを累計投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

3. 上場投資 合計 : SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

SBG連結目録 : NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。

# SVF1 : 投資成果 (2020年6月末時点)

(\$ bn)		(a) 累計投資額 ※2	(b) 累計リターン ※1 (グロス)	(c) = (b) - (a) 累計損益 (グロス)
(A)	上場投資 合計	\$9.6	\$12.7	+\$3.1
(B)	未上場投資+売却済投資 合計	\$72.7	\$71.6	-\$1.1
<b>(C)=(A)+(B)</b>	<b>SVF1 合計 (SBG連結目線)</b>	<b>\$82.3</b>	<b>\$84.3</b>	<b>+\$2.0</b>

		(d) 累計支払額	(e) 価値合計
	<b>SBG 合計 (ネット)</b>	<b>\$24.1</b>	<b>\$23.4</b>
(内訳)	SVF1の純資産価値におけるSBGの持分		\$21.8
	SBGへ分配済の金額 ※3		\$1.6
	SBGが受け取る成功報酬 ※4		-

1.累計リターン=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前。

2.累計投資額：SVF1開始時から2020年6月30日までの累計投資額。売却済の投資（NVIDIA、Flipkart等）を含む。NVIDIAは2019年1月、Flipkartは2018年8月にそれぞれ精算済み。

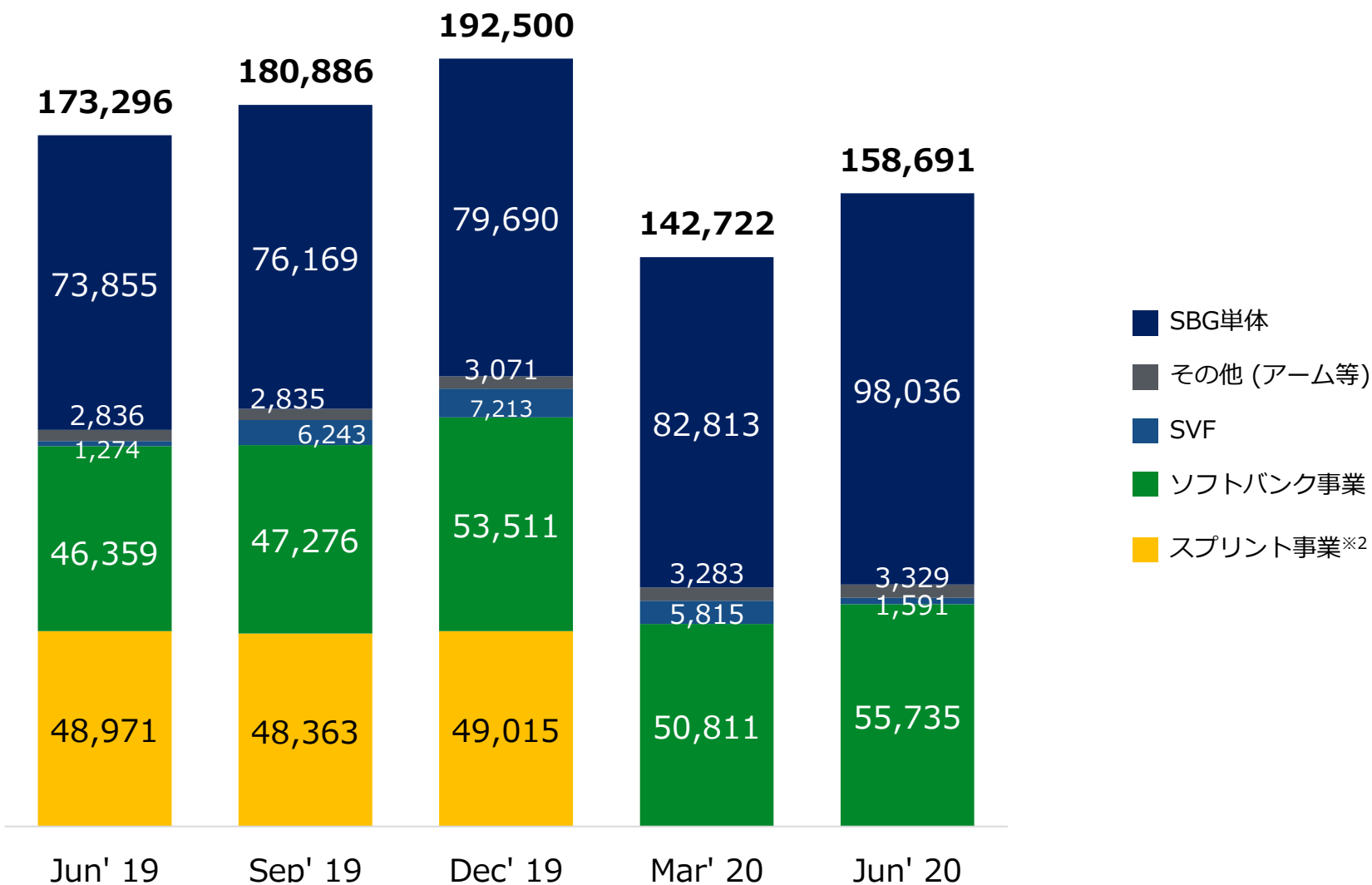
3.SBGへ分配済の金額：SVF1開始時から2020年6月30日までに分配済の金額。

4.SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF1開始時から2020年6月30日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計。投資期間終了以降に全額の支払いが行われた、過去に売却した投資案件に係る成功報酬は、クローバック条項の対象。

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。

# 連結有利子負債※1

(億円)



有利子負債+リース負債

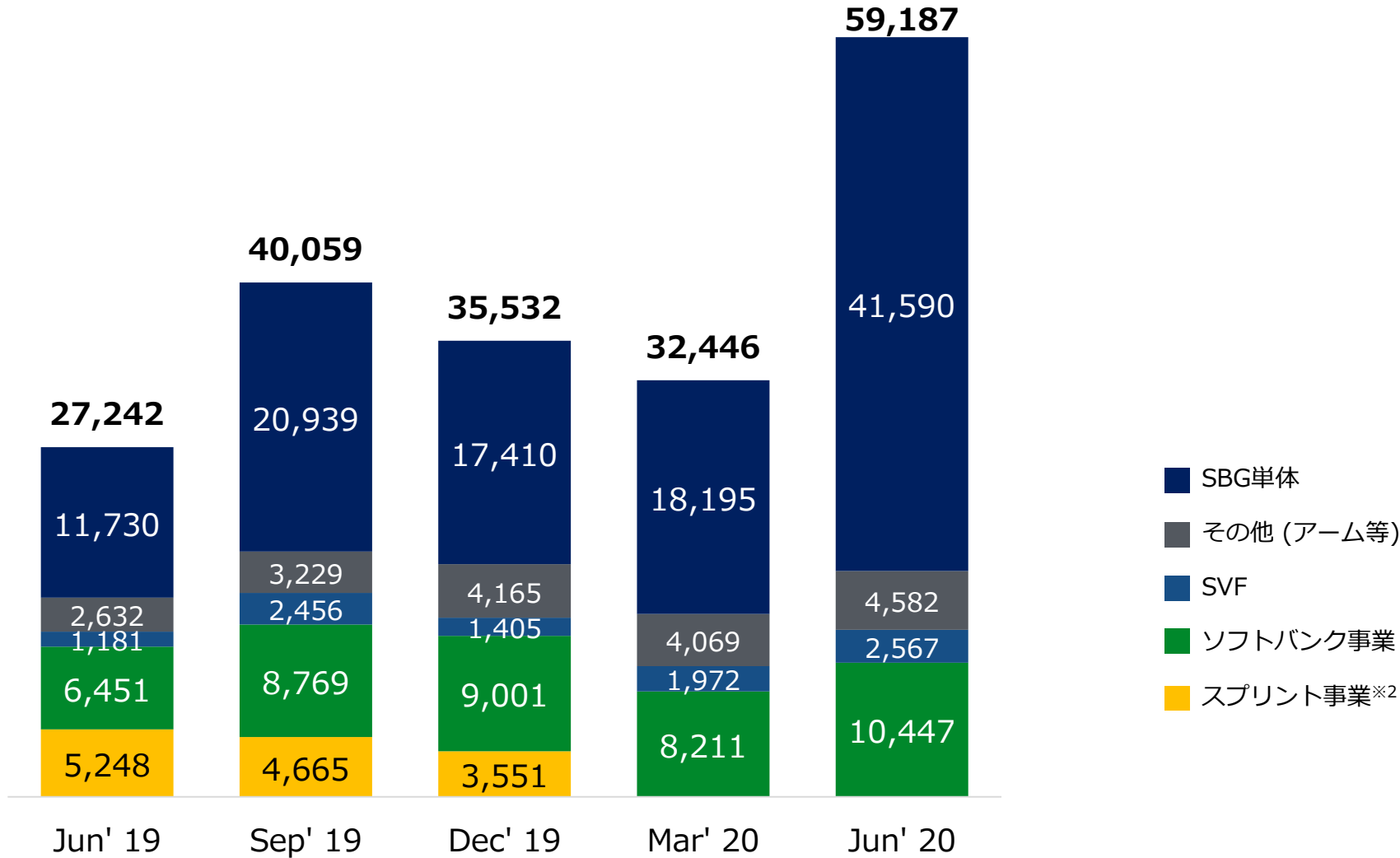
※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。ジャパンネット銀行の銀行業の預金は含まない。2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上

※2 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の有利子負債は連結有利子負債に含まれない



# 連結手元流動性※1

(億円)

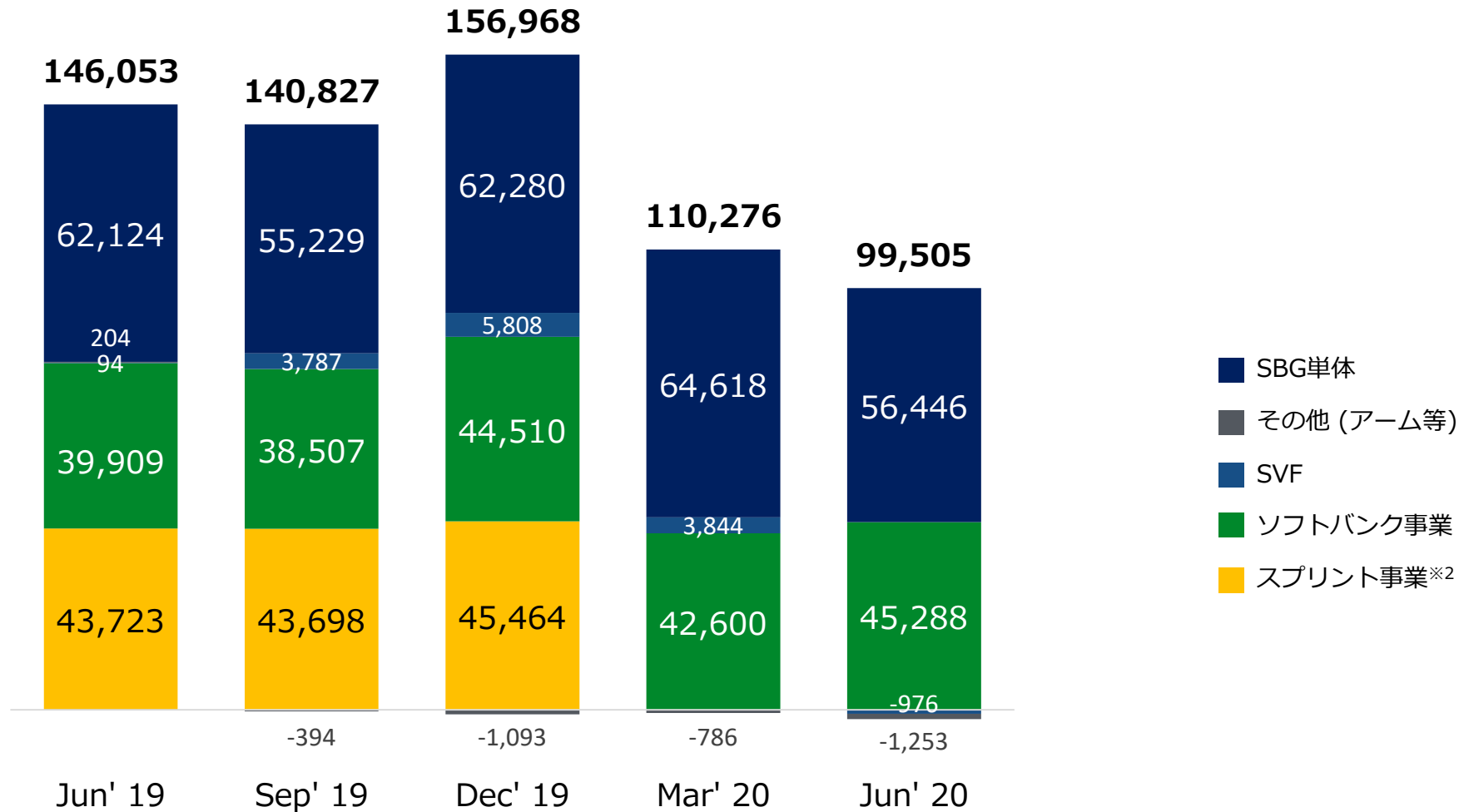


※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。ジャパンネット銀行の手元流動性は含まない  
 ※2 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の手元流動性は連結手元流動性に含まれない

# 連結純有利子負債※1

(億円)

有利子負債+リース負債  
- 手元流動性



※1 ジャパンネット銀行の(銀行業の預金-手元流動性)は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ。2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上

※2 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の純有利子負債は連結純有利子負債に含まれない